

會に於ても各自國語に譯したものを歌つてゐる。古來の音樂家は讀つてこれを作曲した。即ち古くはヴァチカン版に残つてゐるものがあり、ヘンデル、パーセル、ベルリオーズ、サリバン、ブルックナー、ドヴォルザーク等のものは著名である。邦語の讚美歌に於ては586番及び597番に二様の譯詞が出てゐる。

**Telli** (獨 タイル) 部分、聲部、樂部。

**Tellitöne** (獨 タイルトエーネ) 陪伴音。

**Telen** (英 テーレン) **Tellu** (英 テーリン) 英國で用ゐらるゝハーブの一種。

**Tema** (伊 テーマ) 主題、主想。

**Temperament** (英 テンペラメント)

**Temperatur** (獨 テンペラトゥール) 調率、整調、音階の各音を音響學的に整正すること。

**Tempered** (英 テンバード) 音の正確なる、整調されたる。

**Tempestoso** (伊 テンペストーゾ) 狂暴に、急速に。 「ましい舞曲。」

**Tempête** (佛 タンペート) 拍子の喧

**Tempi pari** (伊 テンピ・パリ) 平均速度で。

**Tempo** (伊 テムポ) 拍子、速度。樂曲の演奏する可き運動の時間的緩急速速をテムポと云ふ。このテムポを表はすためには a. メトロノームにより、b. 文字による速度記號によつて現はされる。メトロノームによるものは數字動に正確な運動を示すもので  $MM \text{ } \downarrow = 120$  の如き、それである。文字による速度記號は主としてイタリー語で書かれ、Largo, Adagio, Andante, Allegro Presto 等を以つて示さる。

**Tempo alla breve** (伊 テンポ・アラ・ブレーヴェ) 拍子の速度。

**Tempo a piacere** (伊 テムポ・ア・ピアチェーレ) 隨意の速度で。

**Tempo di valse** (伊 テムポ・ディ・ヴァルス) ヴァルスの速度で。

**Tempo frettoso** (伊 テムポ・フ

レッタヴォーレ) **Tempo frettoso** (伊 テムポ・フレットローゾ) 早く、急速に。

**Tempo giusto** (伊 テムポ・ヂュースト) 正確な拍子で。

**Tempo ordinaro** (伊 テムポ・オルディナリーヨ) 普通の中庸な速度で。

**Tempo peduto** (伊 テムポ・ペドゥート) 規則通りの拍子で。

**Tempo primo** (伊 テムポ・プリモ) 最初の速度で。

**Tempo reggiato** (伊 テムポ・レッチャートヨ) 隨意な速度で。

**Tempo rubato** (伊 テムポ・ルバート) 「盗まれたる速度」即ち、一小節内の長さは變更せずして、各符を隨意の長さに變へて演奏すること。

**Temps** (佛 タン) 速度。

**Temps frappé** (佛 タン・フラッペ) アクセントの附く部。

**Temps levé** (佛 タン・ルヴェ) アクセントのつかない部。

**Tendre** (佛 タンドル) **Tendrement** (伊 テンドレメント) **Tenero** (伊 テネーロ) 柔かき、可愛らしき。 「細。

**Tenerozza** (伊 テネレッツァ) 優美、嬌

**Tenir** (佛 トニール) I. 樂弓を握むこと。 II. 音を保持すること。

**Tenor** (英 テナー、獨 テノール) I. 男聲の高音。頭聲を用ゐることは稀で、發聲は主として胸聲を用ゐる。テノールを大別して抒情的(リリコ)テノールと、英雄的(エロイコ)テノールの二種とする。抒情的テノールの音色は明るく、恰もソプラノを思はせるものがある。低音域の力は弱い。その聲域は中央のハより一オクターヴ下のハ音より二オクターヴ上のハ音までを普通とし、時には嬰ハ音を要求されることがある。英雄的テノールはいかゞメゾソプラノに相當するもので、中音域の力強く、バリトン風の音色を有する。しかし聲域は抒情的テノールより

二度狭く、變ロ音までである。II. 聲樂曲及び器樂曲に於る中音部をテノールと呼び、この音域を持つ樂器をテノール樂器と總稱する。即ちテノール・トロムボーン(變ロ調)、テノール・サクソフォン(變ロ調)、テノール・トランペット(ハ調、變ロ調)等がある。III. 12世紀に複音法の一としてディスクントウスが起つて來た時、その主旋律は常にグレゴリ詠歌を用ひ、これを定旋律、またはテノールと呼び、これに對して高く歌はれるものをディスクントウスと稱した。その後和聲を充實させる上から、第三聲コントラテノールが加へられ、定旋律であるテノールの上又は下に附されたが、後に二つに分れて、下方のをコントラテノール・バスス、上方のをコントラテノール・アルトウスと稱し、その後ディスクントウスはスプレムスと呼ばれ、更にソプラノと呼ばれる様になつた。

**Tenora** (伊 テノータ) カタロニアの木管樂器。鼻にかゝつた鋭い音を出すテノール・オーボエで、イギリス・ユ・ホルンと同属である。カタロニアの民舞サルダナの時に伴奏樂器である。 「最低絃。

**Tenor C** (英 テナー・シー) ヴィオラの

**Tenor clef** (英 テナー・クレフ) 中音部記號、ハ字記號。

**Tenore** (伊 テノール) 中音。

**Tenore buffo** (伊 テノール・ブッフョ) 喜劇向きテナー。

**Tenore di grazia** (伊 テノール・ディ・グラチア) 音色の美しく優しきテナー。

**Tenore leggero** (伊 テノール・レ・ヂェーロ) 音色の軽いテナー。

**Tenore primo** (伊 テノール・プリモ) 主役テナー。

**Tenore pieno** (伊 テノール・ピエノ) 大合唱中のテナー。

**Tenore robusto** (伊 テノール・ロブスト) 強い聲のテナー。

**Tenore viola** (伊 テノール・ヴィオラ) 高音ヴィオラ。

**Tenorfagott** (獨 テノールファゴット) 昔の五度ファゴット。

**Tenorhorn** (獨 テノールホルン) トゥーバに似た、半音階的金管樂器。 Bb-gelhorn。

**Tenorino** (伊 テノリーノ) 裏聲テナー

**Tenorist** (獨 テノーリスト) **Tenorista** (伊 テノーリスタ) 中音歌手、テナー歌手。

**Tenorkonett** (獨 テノールコルネット) コルネットと同じ大きさの金管樂器でテノールホルンに音が似てゐる。

**Tenorschlüssel** (獨 テノールシュリュッセル) 中音部記號。

**Tenortrompete** (獨 テノールトロンムペテ) ハ調或は變ロ調のトランペット。

**Tenth** (英 テンス) 十度。

**Tenue** (佛 トニユ) **Tenuto** (伊 テヌート) 音を保持して、その音符の持つ時間一杯音を延ばすこと。

**Teorbe** (佛 テオルブ) リュート屬絃樂器。Theorbeを見よ。 「的に。

**Teoretico** (伊 テオレティコ) 理論

**Teoria** (伊 テオリア) 理論、樂理。

**Tepidamente** (伊 テピダメンテ) 冷やかに。

**Ter** (羅 テル) 三回、三倍。

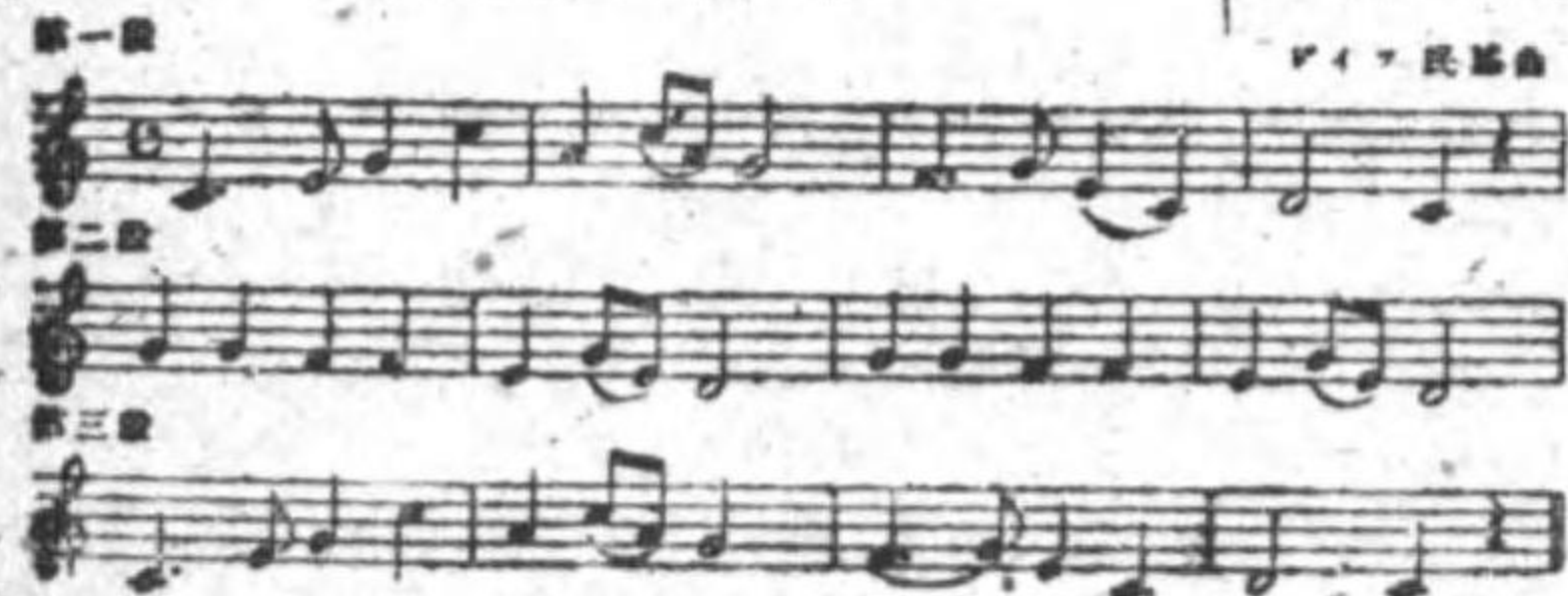
**Ternario tempo** (伊 テルナリーヨ・テムポ) 三拍子。

**Ternary form** (英 ターナリー・フォーム) 三段形式。一つの曲が三つの部分から成り、第一段と第三段とが共通した音樂的のイデ(想念)を現はし、第二段がこれと對照する音樂的イデを現はすものである。曲が三つの部分から成つても、第一段と第三段との間に共通した音樂的イデが認められなければ、三段形式とは呼ばない。此の形は總べての種類の樂曲に用ゐられ、唱歌曲にも大きい形の聲樂



曲にもまた単純な獨奏曲にも、大きな管絃楽曲にも其の例は極めて多い。最も簡単な例として唱歌曲『霞か雲か』(ドイツ民謡)を掲げる。各段の長さは同じであつても差支へはない。しかし他の段に比べて第三段が均衡を失する程短い場合は三段形式ではなく、二段形式の終に結尾 Coda がついたものと認めるのが至當である。各段の長さはそれぞれ長いものであつてもよい。かういふ場合、各段は各自二段または三段の形式を保ち、複合三段形式 Compound ternary form と呼ばれる。行進曲や舞曲は概ね複合三段形式から成るが、其の第一段と第三段はその内部が多くは二段形式から成り、第二段はトリオと呼ばれて通常二段形式から成る。複合三段形式には曲の始めに短い序奏が附せられ、曲の終に短い結尾が附くことがあるが、序奏や結尾は形式外の附加物である。複合三段形式を進めると回旋曲(ロンド)形式が生れ、これを更に進めるとソナタ形式が生れる。従つて三段形式は大きい音楽の基礎としての重要性を持つ。この種類の形式、即ち曲の首尾を同一想念で統括するといふ考へかも生れた形式は東洋に於ては發達しなかつた従つて過去の邦樂は断片的層積に偏し、構成的に大きい音楽が出なかつたのである。

(三段形式の例)  
唱歌曲『霞か雲か』



**Ternary measure** (英 ターナリ  
-メヂューア) 三拍子。

**Tertia** (羅 テルティア) **Terz** (獨 テ

ルツ) **Terza** (伊 テルツァ) 三度。I. 全音階に於ける第三度、これには長三度、短三度、減三度の三種がある。



**Terza maggiore** (伊 テルツァ・マッ  
ヂョーレ) 長三度。

**Terza minore** (伊 テルツァ・ミノ  
レ) 短三度。

**Terzdezime** (獨 テルツデツィーメ) 十三度。

**Terzett** (獨 テルツェット) 三重唱。三人で歌はれる重唱をいふ。この場合三人は相互に異なる獨立的な聲部を歌ふのである。外國語では Trio と稱するが、獨逸にあつては器樂三重奏と區別するため Terzett と稱する。聲部の組合せは女聲三重唱、及び男聲三重唱が普通で、混聲三重唱は極めて稀である。併し歌劇「アイーダ」第一幕に於てはソプラノ(アイーダ)、メゾソプラノ(アムネリス)及びテナー(ラダメス)の有名な混聲三重唱がある。

**Terzo suono** (伊 テルツォ・スオノ) 第三度、第三番目の音。

**Terzquartsextakkord** (獨 テ  
ルツクワルトセクストアッコールド) 七の和絃の第二轉曲。

**Terzine** (伊 テルツィーナ) I. 三連音符。II. Trio。 「オ」の歌詞。

**Testo** (伊 テスト) 聖譯曲(オラトリ  
オ) **Testudo** (羅 テストゥ  
ド) 15-6世紀頃のリラ  
(撥絃樂器)。

**Tête** (佛 テート) I. 符頭  
II. ヴァイオリンの渦巻。

**Tetrachord** (獨 テトラ  
コルド) **Tetracordo**  
(佛 テトラコルド) Te-

**tracordo** (伊 テトラコルド) 希臘  
音樂の四度。四絃のリラの調絃であつて、e. f. g. a の音から出來てゐる。そ

れにテルバンデルの三音の追加によつて二個の連鎖されたテトラコードが出來た。一方の最後の音は他方の第一音になつてゐる。中央音 a は音階の主音であり根音である。

**Text** (英 テキスト) 歌詞。

**Theatre** (英 シアター、佛 テアトル)

**Theater** (獨 テアター) 劇場。

**Thema** (獨 テーマ) **Theme** (英 シ

ーム) **Thème** (佛 テーム) 主題、主

題。樂曲の根本思想を爲すもので通常、動機(モティフ)の集合より成るもの。西洋音樂の作曲上の術語。一つの樂曲、またはその一段落中に於ける最も重要な旋律であつて、長さは通常四小節若しくは八小節の程度である。これは如何なる樂曲にも在存し、通常その曲の始めに現はれ、曲の進行中に一度、二度、または數回(曲の形式に依つて相變するが)、繰返されて出て來るのが例である。

**Thema song** (英 テーマ・ソング) 主題歌、發聲映畫に於て劇中に現はれる歌謡のうち最も主要なもので、劇の内容と密接な關係を持つのが通例である。これはトーキーの出現と共に出來た新語であるが、無聲映畫時代にも主題歌は存在した。(例、映畫「鞍馬車」に於ける民謡『オーズザンナ』。また演劇に於ても鳥村抱月演出の戯曲「復活」に於ける『カチューシャの歌』の如きは主題歌と稱して然るべきものである。これは各々の映畫の作られると共に新作されるのが例である。が、時としては既在の民謡等も主題歌として取扱はれることもある。例 映畫「バラライカ」に於けるロシア古民謡『バラライカ』も用ゐられる。曲は通俗的な小歌謡曲が殆んど全部で、稀れに器樂曲(例、映畫「間諜×27」に於けるピアノ曲『ドナウ河の漣』)が主題歌の位置を取ることもある。

**Thematische Arbeit** (獨 テー  
マティッシュ・アルバイト) 主題の展開。即

ち Durchführung (獨) Development (英) である。呈示部 (Aufstellung der Themen, Exposition) に於て呈示された主題を發展せしめることである。最も良き例はソナタ形式に於ける展開部で、この展開の爲めには三つの手法が行はれる。a) 各主題それ自身の成長發展。b) 各主題間の相互關聯を明らかにすること。c) bの目的を完成する爲めの方法としてあるが、新主題の導入と云ふ事柄。

**Theorbe** (獨 テオルベ) 16世紀に創製された低音リュートに似た絃樂器で、長い棹を有してゐる。絃は指板の上にあるだけではなく、多くの絃が低音和絃 (Bordune) として下の方にもつけられてあつた。リュリーはテオルベの教則本を書いてゐる。テオルベの創製者はアレクサンドロ・ピッツィーニであると云はれてゐる。その調絃は



**Theorie** (獨 テオリー) **Theory** (英 セオリー) 理論、樂理。音樂理論は音樂學の方法論であつて、通奏低音、和聲學、對位法、作曲學をその中に含む。

**Thesis** (希 テーシス) 小節中アクセントのある部分、下拍部。

**Theta** (希 テータ) 昔のビザンティン及びロシアの讚美歌の歌唱上の裝飾法。

**Third** (英 サード) 三度、第三。

**Third inversion** (英 サード・イン  
ヴァージョン) 第三轉回。

**Third position** (英 サード・ポジ  
ション) ヴァイオリン奏法上の第三位置。

**Thirteenth** (英 サーティーンズ) 十三度。

**Thirty-second note** (英 サーティ  
-セカンド・ノート) 卅二分音符。

**Thirty-second rest** (英 サーティ  
-セカンド・レスト) 卅二分休止符。



**Thorough-bass** (英 サロー・ベース) 通奏低音。

**Threnodia** (羅 トレノディア) **Threnody** (英 スレノディー) 挽歌、葬歌。「ン」 擗指の位置。

**Thum position** (英 サム・ポジショ) **Thum string** (英 サム・ストリング) バンヂョーの旋律絃。「笛」

**Tibia** (羅 ティビア) 古代ローマの喇叭形

**Tie** (英 タイ) 帯線、連結帯。

**Tief** (獨 ティーフ) 低き。

**Tiefer** (獨 ティーフエル) ずつと低く。

**Tiefton** (獨 ティーフ・トーン) 低音。

**Tiento** (伊 ティエント) 16世紀頃のオルガン曲の名。

**Tierce** (佛 ティエルス) 三度。

**Tierce de Picardie** (佛 ティエルス・ド・ピカルディ) ピカルディ長三度。

**Tierce maxime** (佛 ティエルス・マキシム) 増三度。

**Timbal** (西 ティンバル) **Timbale** (佛 ティンバール) **Timballo** (伊 ティムバロ) 低音太鼓。

**Timble** (佛 タンプル) 音色(特に聲の)

**Timble clair** (佛 タンプル・クレール) 明るい音色。

**Timble obscur** (佛 タンプル・オブスキュール) **Timble sombre** (佛 タンプル・ソンブレ) 圓く、幅の廣い幾らか暗い音色。

**Time** (英 タイム) I. 音符の長さ。II. 速度。III. 拍子。

**Timorosamente** (伊 ティモロザメンテ) こわごと。

**Timoroso** (伊 ティモロゾ) ためらひつゝ、恐れて。「太鼓」

**Timpanetto** (伊 ティムパネット) 小

**Timpani** (伊 ティムパニ) 太鼓(釜形の)。銅製の胴の上に、獸皮の膜を張つた太鼓。形は大體大、中、小の三つに區別される。螺旋または特殊な器械装置で、次々音域中の任意の音に調

律することが出来る。合奏には通常二個または三個を對として使用するが、中には五個以上を使用した曲もある。此の樂器の起原は可成り古く、アラビア地方で非常に發達した。中世紀に歐洲へ傳へられてからは軍樂器として使用されたが、バッハの管絃樂曲には既に使用されてゐる。ハイドン・モーツァルト以後の交響曲に於ては缺く事の出来ないものになつてゐる。古典時代のティムパニは樂曲の演奏中、調子を變へる事が出来なかつたが、19世紀になつてからは演奏中任意に調子を變へることが出来る様になつて來た。その音域は次ぎの通り。



**Timpani coperti** (伊 ティムパニ・コベルティ) 弱音されたティムパニ、即ち皮へ布をかぶせて、その上から叩く。

**Timpani sordi** (伊 ティムパニ・ソルディ) 音響停止器のついてゐるティムパニ。

**Timpanista** (伊 ティムパニスタ) ティムパニ奏手。「反響」

**Tintement** (佛 タントマン) 鈴の音、

**Tinter** (佛 タンテ) 鈴を鳴らす。

**Tintinnabula** (羅 ティンティナブーラ) 小鐘。

**Tintinnamento** (伊 ティンティナメント) 小鐘の鳴る音。「音」

**Tintino** (伊 ティンティノ) 振動、鈴

**Tiorba** (伊 ティオルバ) Theorbe に同じ。

**Tirade** (佛 ティラード) **Tirata** (伊 ティラータ) 速い、經過句、特に歌唱上の。

**Tirana** (西 ティラーナ) 18世紀-19世紀の3拍子のスペインの舞曲。



**Tirasse** (佛 ティラス) オルガンのフラ

ンス呼び。  
**Tiré** (佛 ティレ) 降弓。

**Tischgeige** (獨 ティッシュゲイゲ) ギターとヴァイオリンとを一所にした樂器。

**Titel** (獨 ティーテル) **Title** (英 タイトル) 標題(樂曲の)、肩書(人の)。

**Toccata** (伊 トッカータ) イタリア語で、「觸れる」の意。鍵盤樂器(ピアノ、オルガン)に對する曲を斯く云つたのに始まり、單に、前奏曲位の意味であつた。16世紀初期のベトルッチの作曲したトッカータは急速な經過句だけのものを主とし、簡単な通走曲をそれに混ぜたものをトッカータと云つたが、フーガ的なものは決して曲の重點にはならなかつた。バッハのトッカータは此の範圍を出ない。

**Toccato** (伊 トッカート) トラムベツト聲部の低音聲部。「純歌」

**Todesgesang** (獨 トーデスゲザンク) **Todtenmarsch** (獨 トーテンマルシュ) 葬送行進曲。「の舞踏」

**Todtentanz** (獨 トーテンタンツ) 死

**Tombeau** (佛 トンボ) 鎮魂曲。Pavane 風の曲で死者の思ひ出の爲に奏する器樂曲。

**Tome** (佛 トム) 冊、部。

**Ton** (獨 トーン) 音。

**Tonalität** (獨 トーナリテート) **Tonalité** (佛 トーナリテ) **Tonality** (英 トーナリティー) 調性、基音上の和絃の種々相。調性の概念はラモウ(1722)によつて理論的に齎された。(Centre harmonique) そして Tonalität の名はフエティによつて云ひ出された。其の理論は音階上のことのみが考へられ、「Tonika」の下に音階を了解し得る様にされてゐるが、新しい和聲學は Tonalität を和絃の意義の學として考へられてゐる。

**Tonarium** (羅 トナリウム) グレゴリアン讚歌集。

**Tonart** (獨 トーンアルト) 短調か、長調かの決定。今日の音階の含んでゐる12個の半音は12個の長調と短調とを作り上げる。總ての調の標準になるものは長調ではハ長調であり、短調ではイ短調である。長調と短調との差異はその三度と六度の音程の大きさにあつて、長調は長三度と長六度を持ち、短調は短三度と短六度を持つてゐる。

**Tonbestimmung** (獨 トーンベシュティンムング) 音の高さの決定、一音一音、その振動數に依つて。

**Taubuchstaben** (獨 トーンブーフシュターベン) 文字音符。「聲音」

**Ton de voix** (佛 トーン・ド・ヴォア) **Tondichter** (獨 トーンディヒター) 音詩人。「ソク」音詩。

**Tondichtung** (獨 トーンディヒトウ) **Tönen** (獨 トーネン) 響く、鳴らす。

**Tonfarbe** (獨 トーンファルベ) 音色。

**Tonfilm** (獨 トーンフィルム) 發聲映畫。

**Tonforge** (獨 トーンフォルゲ) 旋律。

**Tongedächtnis** (獨 トーンゲデヒトニス) 樂曲の記憶能力。

**Tongeschlecht** (獨 トーンゲシュレヒト) 音性、近代樂の如き、短調とも長調とも決定出来ないものを、オクターヴの十二の半音から音其自身の性質を見極めて和絃及び調性を決定するのである。

**Ton-generature** (佛 トーン・ヂェネラテュール) 基音。

**Tongue** (英 タング) オルガンの調絃。

**Tonguing** (英 タングィング) 速い音符の演奏法(主としてフルート、クラリネットの奏法)。「さ」

**Tonhöhe** (獨 トーンホエーエ) 音の高

**Tonic** (英 トニック) **Tonica** (伊 トニッカ) 根音、音階の主調音。

**Tonic Solfa** (英 トニック・ソルファ) 英國に於ける歌唱教授法にして階名唱法の進歩したもの。即ち、何れの調にも拘



- らず、その音階の基音をFと定めて、F、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シと歌ふのである。だから、ハ長調のハも、ニ長調のニも同じく「F」である。「音」。
- Tonika** (獨 トニカ) 音階の第一度、根
- Tonische Dreiklang** (獨 トーニッシュェ・ドライクラング) 根音上の三和音
- Tonkunst** (獨 トーンクンスト) 音楽、音楽術。
- Tonkünstler** (獨 トーンキユンストラー) 音楽家。
- Tonleiter** (獨 トーンライター) 音階。
- Tonmalerei** (獨 トーンマニレイ) 音畫、音に依つて繪畫的に自然の姿を描く。
- Tonmesser** (獨 トーンメッター) 一絃琴、音の高さを測る器械。
- Tonqualität** (獨 トーンクヴァリテート) 音色。
- Tonquantität** (獨 トーンクワンテイテート) 音の高さ。「音」。
- Tonschrift** (獨 トーンシュリフト) 楽
- Ton de l'église** (佛 トーン・ド・レグリーズ) 教會的の音調。「曲家」。
- Tonsetzer** (獨 トーンゼッツェル) 作
- Tonsetzung** (獨 トーンゼッツンク) 楽曲。
- Tonstück** (獨 トーンシュテュック) 楽曲。
- Tonstärke** (獨 トーンシュテルケ) 音の強さ、即ち強、弱。
- Tonstufe** (獨 トーンシュトゥーフェ) 音度、五線上の音の位置。
- Tonsystem** (獨 トーンジステーム) 音階組織。「性」。
- Tonus** (希 トーヌス) I. 全音。II. 調
- Tonveränderung** (獨 トーンフェルエンデルンク) 轉調。
- Tonverwandtschaft** (獨 トーンフェルワンツトシャフト) 親近調。
- Tonwechsellmaschine** (獨 トーンウェクセルマシーネ) 金管楽器の管を自由に長短にして音の調節を圖る器械、
- piston, ventil に同じ。
- Tonwischenschaft** (獨 トーンウイッセンシャフト) 音楽學。
- Testamente** (伊 トスタメント) 急速に、早く。
- Testissimamente** (伊 トスティッシモメント) **Testissimo** (伊 トスティッシーモ) 極めて速く、非常な速度で。
- Testo** (伊 トスト) 速かなる、急いで。
- Touch** (英 タッチ) 觸鍵法、彈奏法。
- Touche** (佛 トウシュ) I. 觸鍵法。II. 鍵。
- Touche d'orgue** (佛 トウシュ・ドルグ) オルガンの鍵。
- Toucher** (佛 トウシュ) 彈奏する。
- Toujours** (佛 トウジュール) 常に。
- Tour de force** (佛 トゥール・ド・フォルス) 急奏、速奏。
- Tourdion** (佛 トゥールヂオン) 古代フランスで輪舞から三拍子の Nachtanz に變る時の記號。
- Tout ensemble** (佛 トゥート・アンサンブル) 全曲同じく。
- Trabattere** (伊 トラバッターレ) 拍子をとる、叩く。
- Tractus** (羅 トラクトゥス) ローマ教の讚美歌中の悲しげな旋律。
- Tradolce** (伊 トラドルチェ) 非常に柔らかに、優しく。
- Trait** (佛 トレ) 樂句、經過句。
- Trait de chant** (佛 トレ・ド・シャント) 旋律的樂句。
- Trait d'harmonie** (佛 トレ・ダールモニー) 和絃の連續。
- Traité** (佛 トレーテ) 樂理。「ふ」。
- Trällen** (獨 トレルン) 口を閉ぢて歌
- Tranquillamente** (伊 トランキラメント) 靜かに、落ついで。
- Tranquillo** (伊 トランキロー) 靜かなる、落つける。
- Transcription** (英 トランスクリプション) **Transcrizione** (伊 ト

- ランスクリチュオーネ) 改編曲。
- Transcent** (英 トランシェント) 臨時の、經過音的の。
- Transposed** (英 トランスポーズト) 移調されたる。
- Transposer** (佛 トランスポーゼ) **Transponieren** (獨 トランスポニーレン) 移調する。一つの旋律又は一つの全樂曲をそのまま本來の調から或る他の調に移して奏するか、或ひは書き換へることを云ふ。
- Transponierende Instrument** (獨 トランスポニーレンデ・インストルument) **Transposing instruments** (英 トラシスポージンク・インストルメント) 移調樂器、或る樂譜を或る樂器で演奏する時、その音が實際の音符と異つた音律で響く樂器、即ちその樂器の調律が一般的規定調律とは音度を異にしたものを移調樂器と云ふ。a) 演奏される音が樂譜の音と一オクターヴ乃至二オクターヴの差を以つて響く樂器。Picco'o, Celeste, Dulcitone, Compnell, Kontrabass, Kontrafagott, Sarrusophone, Mondolone, Chitarone, Guitar. b) 通常の樂器とは異つた調性で樂譜を書かなければならない樂器。Trumpet, Trombone, Klarinett, Saxophone 等。
- Transkription** (獨 トランススクリプチオーン) 改編曲。
- Transverse flute** (英 トランスヴァース・フリュート) 横笛。
- Trascinando** (伊 トラシナンド) 拍子を遅緩せしむ。「調」。
- Trasposto** (伊 トラスポースト) 移
- Trattenuto** (伊 トラッテヌート) 音を抑留して。
- Tranergesang** (獨 トラウエルゲザンク) 挽歌、哀歌。
- Trauermarsch** (獨 トラウエルマルシュ) **Trauermusik** (獨 トラウエルムジーク) 葬送行進曲。「れな」。
- Traurig** (獨 トラウリヒ) 悲し氣に、哀
- Traversière** (佛 トラヴェルシエル) **Traverso** (伊 トラヴェルソ) 獨逸風の横笛。
- Travestie** (獨 トラヴェスティエ) 變へ歌、Parodie に同じ。
- Travestieren** (獨 トラヴェスティエレン) 變へ歌を作る。
- Tre** (伊 トレ) 三、a tre (ア・トレ) 三個の、三部の、三樂章の、Sonata a tre = 三樂章の奏鳴曲。
- Treble** (英 トレブル) 高音、高音部。
- Treble clef** (英 トレブル・クレフ) 高音部記號、ト字記號。
- Treble forte stop** (英 トレブル・フォルテ・トストップ) 室内オルガンの高音強聲音栓。
- Treble second** (英 トレブル・セカンド) 第二高音部。
- Treble staff** (英 トレブル・スタッフ) 高音部譜表。
- Treble voice** (英 トレブル・ヴォイス) 女聲音又は兒聲の聲音の高いもの。
- Tre corde** (伊 トレ・コルデ) 三絃の意。ピアノにて弱音ペダルの作用を停止すること。「度」。
- Tredezimé** (獨 トレデツィーメ) 十三
- Tremblant** (佛 トランプラン) 振動。
- Tremblement** (佛 トランプルマン) 顫音、triller に同じ。
- Trembler** (佛 トランプレ) 振動する。
- Tremendo** (伊 トレメンダ) 恐怖に満てる。
- Tremolando** (伊 トレモランド) 振動しつゝ、顫へつゝ。
- Tremolo** (伊 トレモーロ) 振動、顫動音、音或は和絃の急速なる繰返し。
- Tremorant** (獨 トレモリーレン) 聲音の過る顫はせ方。
- Tremorant** (英 トレモラント) **Tremurant** (獨 トレムラント) オ



ルガンの音栓名、強い顫音を出す。  
**Tremore** (伊 トレモーレ) **Tremproso** (伊 トレモローゾ) 顫へる。  
**Trenchmore** (英 トレンヂモーア) 快活なる英國の舞曲。「舞歌」。  
**Trenodia** (伊 トレノディア) 挽歌。  
**Trepodion** (獨 トレポディオソ) 自動楽器、オーケストラの音を真似たもので鍵盤を有してゐる。  
**Très** (佛 トレー) 非常に、極めて。  
**Très animé** (佛 トレー・ザニメ) 非常に急いで。  
**Tresca** (伊 トレスカ) **Tresche** (獨 ドレッシュェ) 古代フランスの舞曲。  
**Très fort** (佛 トレー・フォル) 極めて強く。  
**Très lentement** (佛 トレー・ラントマン) 極めて緩かに。「板」。  
**Treter** (獨 トレーター) オルガンの踏。  
**Tre volte** (伊 トレー・ヴォルテ) 三拍子。  
**Trezza** (伊 ドレッツァ) 古代の舞曲で Courant クーラントに似たもの。  
**Triad** (英 トライアド) 三和音。  
**Triangel** (獨 トリアンゲル) **Triangle** (英 トライアングル) **Triangolo** (伊 トリアンゴロ) 小さい三角形の金属性の打楽器それを短い鐵棒で打つ。音色は透明で、ハイドンの軍隊交響曲に使用されたのが純音楽の最初。一定の律は無く単に打つ他にトレモにも出来る。  
**Trias** (羅 トリアス) 三和絃。  
**Tricinum** (羅 トリチニウム) 三重唱曲。「ウム」短三度。  
**Trihemitonium** (希 トリヘミトニウム) **Trill** (英 トリル) **Trille** (佛 トリーユ) **Triller** (獨 トリラー) **Trillo** (伊 トリロ) 顫音、總ての裝飾音中最も主要なもので tr— 或は tr— によつて指示さる。此の指定された音符の全時間心をその主音と、次の二度高の音とを非常に速く繰返して奏する。

**Trillerkette** (獨 トリラーケッテ) 顫音の連鎖、此の連鎖の後に後倚音を有してゐる。  
**Trillete** (伊 トリレット) 連音、morkent に同じ。  
**Trillern** (獨 トリレルン) 顫はす。  
**Trillo caprino** (伊 トリーロ・カプリノー) 不平均顫音。「歌」。  
**Trinklied** (獨 トリンクリッド) 宴歌。  
**Trio** (伊 トリオ) I. 中間奏部(樂式上)。II. 三重奏(唱)曲。三箇の楽器に依る演奏をいふ。この場合三箇の楽器は相互に異なる獨立的な聲部を奏するのである。楽器の組合せにはピアノ、ヴァイオリン、チェロによるピアノ・トリオが最も一般的である。絃の三重奏は、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロを以て組織される。その他、ハープ、フルート、チェロによるハープ・トリオ、ヴィオラ、ホルン、ピアノによるホルン・トリオ(ブラムス)ピアノ、オーボエ、ファゴットによるピアノ・トリオ(プーランク)等の組合せもあるが、是等はピアノ・トリオの展開形と見るべきである。17-8世紀頃のソナタにあつては二箇のヴァイオリンとコントラバスの組合せに、チェロの助奏が加はつてゐても、三聲部である時にはこれを三重奏ソナタとして取扱つてゐた。三重奏曲としては絃三重奏のために作曲された方が古くからある。モーツァルトは絃三重奏用ディヴェルティメントや變ホ長絃樂三重奏曲を作曲し、ベートヴェンも書いた。しかし三重奏曲は、その和聲的基礎に於て、四重奏曲よりも堅實ではなく、そのために音色も變化に乏しく、音量も貧弱であるが、レーガー等の近代的作品にあつては、かかる缺點は大分除去された。ピアノ・トリオは絃樂四重奏に次いで最も一般的な室内樂形式である。そしてピアノ・トリオは絃樂器二箇とピアノの組合せのために、その音量及び音色の關係上、作品はピアノが中心となり易い。

**Triole** (獨 トリオール) **Triolet** (佛 トリオレー) 三連音符。  
**Triomphale** (佛 トリオンファール) **Triofante** (伊 トリオンファンテ) 凱旋の、歌呼を擧げて。  
**Tripartite** (英 トリパルタイト) 三部に分けたる。  
**Tripelfuge** (獨 トリペルフゲ) 三個の主題を有する遁走曲。  
**Tripeltakt** (獨 トリペルタクト) 三拍子、即ち三拍子及び三の倍數の拍子。  
**Triphonia** (希 トリフォニア) **Triphony** (英 トリフォニー) 三音が一般に閉ゆるもの。  
**Triple counterpoint** (英 トリプル・カウンターポイント) 三聲對位法。  
**Triple croche** (佛 トリプル・クロシェ) 卅二分音符。  
**Triple dotted note** (英 トリプル・ドット・ノート) 三重附點音符。  
**Triple octave** (英 トリプル・オクターヴ) 三オクターヴ。  
**Triplet** (英 トリプレット) 三連音符。  
**Triple time** (英 トリプル・タイム) 三拍子及び其の倍數の拍子。  
**Trisemitonium** (羅 トリセミトニウム) 短三。  
**Tristezza** (伊 トリステツァ) 悲哀。  
**Tritonikon** (獨 トリトニコン) 金屬製のコントラファゴット。  
**Tritonus** (希 トリトニス) 「五つの音」即ち、四度と七度との間に置かれた三全音を云ふ。  
**Triumphierend** (獨 トリウムフィーレンド) 歌聲を擧げて、凱旋の。  
**Triumphlied** (獨 トリウムフリード) 凱歌。「三章の」。  
**Tros** (佛 トロア) 三、a trois 三部の。  
**Tromba** (伊 トロムバ) トラムベツト。  
**Tromba da tirarsi** (伊 トロムバ・ダ・ティラルシ) 歪口の長いトラムベツト。  
**Tromba marina** (伊 トロムバ・マ

リーナ) 昔の絃樂器、Trumscheit と同じ。  
**Trombaro** (伊 トロムバーレ) トラムベツトを奏すること。  
**Tromba sorde** (伊 トロムバ・ソルデ) 弱音器をつけたトラムベツト。  
**Trombetta** (伊 トロムベッタ) 小さいトラムベツト。  
**Trombone** (英、佛 トロムボーン) 低音金管樂器。全金管樂器中最も壯大な音を持つ樂器。二重管の伸縮操作を持つてゐて、他の金管が自然倍音に限られた吹奏に満足してゐる昔から此の樂器だけは自由に半音階を奏してゐた。16世紀の繪畫には既にトロムボーン演奏が描かれてゐるトロムボーンの基本型は變ロ調のもので音色は壯大、雄偉。ベートーヴェンまでは、音が強大だつた爲めは劇場と宗教樂專門の樂器であつた。變ロ調トロムボ



ーンの音域はアルト・トロムボーン(變ホ調)。昔トロムボーンは合唱を齊鳴する習慣があつた。當時此の樂器は人聲のアルトと齊奏した。音色が悪いので高音部金管に自由に半音階の得られる様になつた今日では單に古典曲の演奏に使用されるのみ。音域は下記の通りバス・トロ



ムボーン(英國ではト調、大陸ではヘ調)幅のある美しい低音色を持つてゐたが演奏が困難なので今日では餘り用ゐられな



い。音域は此の他テノールバスの二種のトロムボーンがある。  
**Tromboni** (伊 トロムボーニ) トロムボーンの複數。



**Trommel** (獨 トロムメル) 太鼓 (軍樂隊用の)。

**Trommelbass** (獨 トロムメルバス) 低音の速い連続を云ふ。

**Trommelei** (獨 トロムメライ) 絶へず太鼓を打つ事。

**Trommelschläger** (獨 トロムメルシュレーガー) 太鼓手。

**Trommelstock** (獨 トロムメルシュトック) 太鼓の撥。

**Trommelwirbel** (獨 トロムメルウィルベル) 太鼓のすり音。

**Trompe** (佛 トロンプ) ホルンの古名。

**Trompe de chasse** (佛 トロンプ・ド・シャース) 角笛。「ベツト」。

**Trompette** (獨 トロムペーテ) トラム

**Trompetengeige** (獨 トロムペーテングアイゲ) 細長い絃楽器 Trumschheit に同じ。

**Trompeter** (獨 トロムペーター) トラムペット奏者。「ベツト」。

**Trompette** (佛 トロムペット) トラム

**Trompette marine** (獨 トロムペット・マリーン) trumschheit と同じ。

**Tonco** (伊 トロンコ) 音を切断する指示。「曲」。

**Troop** (英 トルーブ) 速い拍子の行進

**Tropen** (獨 トローペン) **Tropi** (羅 トローピ) I. 教會旋法の調性。II. 布行曲。III. 讚美歌の各種の終結形。

**Troppo** (伊 トロッポ) 非常に、餘りに多く、adagio ma non troppo 緩かに然し、餘り甚だしくなく。

**Troubadour** (佛 トルーバドゥール)

**Trouvères** (佛 トルーヴェール)

**Trouveurs** (佛 トルーヴェール) 遍歴樂人。11世紀から13世紀頃まで流行した騎士の音樂者或は詩人を云ふ。彼等はヴァイオリン、手廻風琴、或はハープを所持して、ラテン系國を巡遊した。

**Trugschluss** (獨 トルクシュルッ

ス) 阻碍静止、(詐欺静止)。

**Trumpet** (英 トランペット) トラムペット。金管中の高音樂器である。昔のものは長管であつたが現在のは短管になつて、ハ調變、ロ調、イ調の三種が用ゐられてゐる。然しハ調のものは殆んど最近用ゐられなくなつた。音色は鋭く、輝やかしいもので、音域は普通二オクターヴ。ハ調以外は移調樂器で、變ロのものは記譜より一全音低く、イ調のものは短三度



低く響く。トラムペットは以上三種のほかに通常のよりも小さいニ調のものがある。音色は通常のものよりも鋭く、リヒヤルト・シュトラウスは「ドン・ファン」に於てニ調のものを二個使用してゐる。音域は普通と同じで、實音は記譜より一全音高い。又、ヴァーグナーは「ニベルンゲン」でバス・トラムペットを新たに使用した。けれど、今日では此の爲めにはリムスキ・コルサコフがアルト・トラムペットと名付けたハ調と變ホ調の二個が用ゐられてゐる。音域は普通と同じでハ調のものは五度高く變ホ調のものは長六度高く記譜される。音色は軟い。

**Trumpet and drum band** (英 トラムペット・アンド・ドラム・バンド) 喇叭鼓隊。

**Trumpet and drum music** (英 トラムペット・アンド・ドラム・ミュージック) 喇叭鼓樂。

**Trumpet harmonical** (英 トラムペット・ハーモニカル) トラムペットに似た音を出す樂器。

**Trumpet marine** (英 トラムペット・マリーン) **Trumschheit** (獨 トロムメルシャイト) 細長い共鳴器に強い絃の張つてある一絃樂器で、トラムペット

の音に似てゐる。以前海上の信號樂器として用ゐられてゐた。

**Tschardasch** (獨 チャルダッシュ) ハンガリーの舞曲、Czardas に同じ。

**Tuba** (獨 トゥーバ) I. 古代ローマの吹奏樂器。II. サクソホルン屬中の最低音樂器で、此の屬の中で管絃樂に用ゐられる唯一のものである。トゥーバにはテノール(變ロ)とバス(ハ調)の二種あるが今日管絃樂で用ゐられてゐるのはハ調のバス・トゥーバである。又、ヴァーグナーで盛んに用ゐられたものにコントラバス・トゥーバ(變ロ調)がある。何れも移調樂器で、變ロ調テノールは記譜より一全音低く、ハ調は五度低く、コントラバスはテノールより一オクターヴ低い。

**Tuba curva** (伊 トゥーバ・クルヴァ) 簡単な金管樂器、自然音だけを出す。

**Tubaphon** (獨 トゥーバフォン) 管になつてゐる鐵琴。

**Tubular bells** (英 テューブラー・ベルズ) 組鐘、管鐘。

**Tumultuoso** (伊 トゥムルトゥオーゾ) 騒々しき、混亂せる。

**Tune** (英 テューン) 節、曲、旋律。

**Tuning fork** (英 テューニング・フォーク) 音叉。

**Tuning hammer** (英 テューニング・ハンマー) 調律具。

**Tuning slide** (英 テューニング・スライド) トロムボーンの挿管。

**Tuoni ecclesiastici** (伊 トゥオーニ・エクレジアスティーチ) 教會旋法、讚美歌。

**Tuono mezzo** (伊 トゥオーノ・メゾ)

「よ。ツォ) 半音。  
**Tuorba** (伊 トゥオルバ) Therbe を見

**Turca** (伊 トゥルカ) **Turco** (伊 トゥルコ) **Turkisch** (獨 トゥルキッシュ) トルコの、トルコ風の。

**Turm-musik** (獨 トゥルム・ムジック) 吹奏樂、Fanfare に同じ。

**Turn** (英 ターン) 回音、主音の周圍を旋回する。裝飾音記號で指示される。

**Tutta** (伊 トゥッタ) **Tutto** (伊 トゥット) 全て、全部。

**Tutta la forza** (伊 トゥッタ・ラ・フォルツァ) 全ての力を持つて。

**Tutte le corde** (伊 トゥッテ・レ・コルデ) 全絃で。

**Tutti** (伊 トゥッティ) 總て。

**Twelfth** (英 トウェルフス二) 十度。

**Two step** (英 トゥーステップ) 二拍子の現代舞踏曲。19世紀末からアメリカに起つた社交舞踏及びその音樂であるラグタイム中の一形式で、二拍子の快速なもの。ジャズが起るに及んでトゥーステップはフホッフクス・トロットのの中に含まれてしまつたが、これと對比的にあつたワン・ステップは尙ほ今日用ゐられてゐる。

**Twenty second** (英 トウェンティー・セカンド) 三オクターヴ。

**Tyrolienne** (佛 ティロリアンヌ) ティロール地方の民謡で結尾に Jodler ヨードラーを伴つてゐる。更に3拍子の輪舞。





## U

5. 羽。支那の古樂及び我が雅樂の音階たる五聲の第五音。また七聲の第六音。商より順へによつて得られる音。宮となす音程は振動数比 $\frac{17}{16}$ 。洋樂音階の長六度音程よりもシントニック・コンマ( $\frac{9}{80}$ )だけ高い。我が俗樂音階の都節では、この雅樂音階の羽よりも半音階低い羽を用ゐる。

**Übelklang** (獨 ユーベルクラント) 不協和音。

**Üben** (獨 ユーベン) 練習する。

**Überblasen** (獨 ユーバーブラーゼン) 吹奏樂器が根音より高い自然音を吹奏すること。

**Übergang** (獨 ユーバーガント) 經過句。或る調から、主としてその親近調への轉調を云ふ。

**Übermässig** (獨 ユーバーメーシヒ) 増の、増音程の。

**Übermassig Dreiklang** (獨 ユーバーメーシグ・ドライクラント) 増三増音。

**Übermässiges Intervall** (獨 ユーバーメーシグス・インテルヴァル) 増音程。

**Überschlagen** (獨 ユーバーシュラーゲン) 吹奏樂器が期待以上に高い自然音を出すこと。

**Übersteigen** (獨 ユーバーシュタイゲン) 聲部の交錯に於てアルトがソプラノよりも高い聲部に行くことを云ふ。他にも同じ。

**Übung** (獨 ユーブント) 練習。

**Übungsstück** (獨 ユーブントクスシュテック) 練習曲。

U. C. Una corda の略。

**Uchō** 羽調。支那古樂及び我國の雅樂の

音階の一種。五聲または七聲に於て羽の音より始まり、羽の音で終る構造を持つた音階を云ふのである。我が國ではこの終始の音たる羽を誤つて宮に配した爲めに其宮を嬰商と呼び、徴の音を嬰羽と呼ぶに至つた。此音階を我國では律調と稱して居る。

**Udito** (伊 ウディートオ) 聴覚。

**Uguale** (伊 ウガレ) 平均に、同等に。

**Ukulele** (英 ユカリリー) ハワイの樂器で小型のギター。ポルトガルの Machete が原樂器である、四本の絃でイ、ニ、嬰ベ、トと調律されるが、ジャズに使用する時にはイ、ニ、ヘ、イと調絃する。

**Ultimo** (伊 ウルティモ) 最後の。

**Umano** (伊 ウマーノ) 人の、人聲の。

**Umfang** (獨 ウムファンク) 音域、聲域。

**Umkehren** (獨 ウムケーレン) 轉回する。

**Umkehrung** (獨 ウムケーラント) 轉回、高い音が低い音となり、その反対となる音程、或ひは和音の音程の置き換えを云ふ。I. 音程の轉回。完全音程は轉回に於ても完全であり、長音程は短音程となり増音程は減音程となり、減音程は増音程となる。II. 和音の轉回。或る一つの和音中の音程の一つが低音として根音の下位に置き換へられ、根音はその本性を失ふことなしに内聲音となる場合を云ひ、基本和音は只此の轉回のみによつて變化させられる。

**Umoro** (伊 ウモーレ) 諧謔、ユーモア。

**Umorisco** (伊 ウモリスコ) 諧謔的な。

**Un.** (Uno の略)。

**Una** (伊 ウナ) **Uno** (伊 ウノ) 一つの。

**Una corda** (伊 ウナ・コルダ) 一本の

絃で。  
**Una** (獨 ウナ) 八分音符、八分音符  
**Und** (獨 ウント) 及び、そして、and に同じ。

**Undecima** (伊 ウンデチマ) **Undezime** (獨 ウンデツイーメ) 十一度。根音の第八度の第四度。

**Undezimole** (獨 ウンデツイモーレ) 十一連音符。「イ」代役。

**Under study** (英 アンダー・スタディ)

**Undulazione** (伊 ウンドゥラチオーネ) 絃樂器の波音(ヴァイブラート)

**Unendlich** (獨 ウンエンドリッヒ) 無限の。

**Unessential note** (英 アンエッセンシャル・ノート) 經過音、補助音等和絃の本體に非ざる音。「ガリーの。

**Ungarisch** (獨 ウンガリッシュ) ハン

**Ungarische Tanz** (獨 ウンガリッシュ・タンツ) Hungarian Dance。

**Ungebunden** (獨 ウンゲブンデン) I. 拘束なき。II. 結音帯なき。「ど。

**Ungefähr** (獨 ウンゲフェール) 殆ん

**Ungestüm** (獨 ウンゲシュテューム) 狂暴なる、騒がしき。

**Ungleich** (獨 ウングライヒ) 異なる、不平均なる。

**Ungleicher Kontrapunkt** (獨 ウングライヘル・コントラプンクト) 不同對位法、一音對一音の平均對位法ではなく、切分法に依るものなどを云ふ。

**Unharmonisch** (獨 ウンハルモニーッシュ) 不協和の、和聲的に非ざる。

**Unichord** (英 ユニコード) 一絃琴。

**Unison** (英 ユニズン) **Unisono** (伊 ウニゾーノ) 齊奏、齊唱、多數聲部を以て同一音を奏すること。

**Unisonenspiel** (獨 ウニゾーノシュピール) 齊奏、齊唱。「II. 齊唱(奏)。

**Unisonus** (獨 ウニゾヌス) I. 同音。

**Un peu** (獨 ユン・ピュー) **Un poco** (伊 ウン・ポコ) 少し、僅かに。

**Un poco piu adagio** (伊 ウン・ポコ・ピュー・アダージョ) 僅かに緩りと。

**Unruhig** (獨 ウンルーイヒ) 落着みざる、不安の。「邪氣な。

**Unschuldig** (獨 ウンシュルディヒ) 無

**Unsingbar** (獨 ウンジンクバール) 歌ひ得ざる、旋律的でなき。

**Unter** (獨 ウンテル) 下の、下に。

**Unterhaltungsmusik** (獨 ウンターハルトゥンクスムジーク) 娛樂音樂、通俗音樂。

**Unterstimme** (獨 ウンターシュティムメ) 下聲、低音部。

**Unterdominant** (獨 ウンタードミナント) 下屬音。或る調の第四度の音を云ふ。

**Unterdominantdreiklang** (獨 ウンタードミナント・ドライクラント) 下屬和絃。

**Unterdominanteakkord** (獨 ウンタードミナントアッコルド) 下屬音和絃。或る調の第四度上に構成された和音で調を和聲的に且完全に表現する第三の主要和音である。

**Intermediant** (獨 ウンターメディアント) 下中音。或る調の根音の第八音の下、或ひは根音の下第三度に當る音を云ふ即ちハ長調に於てはイ音、ハ短調に於ては嬰イ音である。

**Unterton** (獨 ウンタートーン) 下音。多くの樂音は、その整数倍の振動数をもつた上音(倍音)を伴ふのが普通であるが、リーマンによると、なほこの他に基音の數分の一の振動数をもつた音の系列が低い方に展開されてゐる。例へばc<sup>2</sup>を鳴らすと c<sup>1</sup> f c AsF DC 等がそれに伴ふ。彼はこれを以て短和絃を説明し、上音によつて長和絃を説明し和聲二元論を立てた。

**Unverzert** (獨 ウンフェルチールト) 装飾なき。「ざる。

**Unvocal** (英 アンヴォーカル) 歌ひ得



**Unvollkommen** (獨 ウンフォルコムメン) 不完全な。  
**Unvollkommeneganzschluss** (獨 ウンフォルコムメネガンツシュルッス) 不充分完全静止。  
**Unvollkommene Konsonanz** (獨 ウンフォルコムメネ・コンソナンツ) 不完全協和音程。  
**Unvollständiger Akkord** (獨 ウンフォルシュテンディゲル・アッコールド) 不完全和音。  
**Uomo** (伊 ウォーモ) 人、登場人物。  
**Up beat** (英 アップ・ビート) 上拍、弱部。  
**Up bow** (英 アップ・ボウ) 上弓。  
**Upper partial** (英 アッパー・パーシャル) 陪伴音。  
**Upright piano** (英 アップライト・

ピアノ) 豎形ピアノ。  
**Ursprünglich** (獨 ウルツプルンダリッヒ) 原作の、原調の。  
**Ursprüngliche Tonart** (獨 ウルツプルンダリッヘ・トーンアルト) 原調。  
**Utabue** 歌笛、我が國中世初期に行はれた笛の一種。一名中管または東遊笛。指孔六つある横笛にして風俗歌及び東遊等の伴奏に用ゐたものである。其大きさは竝笛と神樂笛の中間に位するので中管とも呼んだ。中管は、支那に行はれる竝吹の樂器とは全く別なもので、即ち同名樂器である。此笛は近代に至つて亡はれ東遊には竝笛を代用する。  
**Ut** (羅 ウト) I. 階名唱法の第一音。II. フランスでは C (ハ) のこと。

V

**V I. voci** (ヴォーチ) 聲の略字、例 Sv=三部合唱で。II. ヴァイオリン Violinの略。III. Vilo. Cello チェロの略。  
**Va** (伊 ヴァー) 續けよ。  
**Vacete** (伊 ヴァチエート) 早く。  
**Vacillando** (伊 ヴェチランド) **Vacillante** (伊 ヴァチランテ) 波音を爲して。  
**Vaghezza** (伊 ヴァゲツツァ) 典雅、艶。  
**Vagans** (羅 ヴァガンズ) 五聲。五重唱。  
**Vago** (伊 ヴァーゴ) 夢幻の如くに。  
**Valce** (伊 ヴァルチェ) ワルツ、圓舞曲。  
**Valeur** (佛 ヴァリュール) **Valore** (伊 ヴァローレ) I. 大膽に、II. 時長。  
**Valse** (佛 ヴァルス) 圓舞曲、ワルツ。  
**Valse Boston** (佛 ヴァルス・ボストン) 現代社交舞踏用のワルツ。♩=4-44の速度である。

**Value** (英 ヴァリュール) 價值、(音符の時長の)。  
**Valve** (英 ヴァルヴ) 音栓。金管樂器に附けられてゐる換音装置、これが發明された爲めにホルン等は轉調の場合一々挿管を代へなくて済む様になつた。その爲めに昔のホルンを ナチュラル・ホルンと云ふのに対し、現在のをヴァルヴ・ホルンと云ふ。  
**Valvola** (伊 ヴァルヴォーラ) 同上。  
**Vamp** (英 ヴァンプ) 伴奏部の準備的節奏。  
**Vaporeux** (佛 ヴァポリュー) 軽く、爽かに。  
**Variamente** (伊 ヴァリアメンテ) 色の奏法で。  
**Variante** (伊 ヴァリアンテ) 色の色々な奏法で。

**Variamento** (伊 ヴァリアメント) 變化多く、變奏的に。  
**Variation** (英 ヴァリエーション、獨 ヴァリアチオン、佛 ヴァリアシオン) **Variatione** (伊 ヴァリアチオーネ) 變奏曲。一つの主題が種々の變奏曲に變化して行く形式である。變奏曲は普通主題から材料を一つか、或ひは極く僅かしか使用しない。その場合使用する材料は拍子かリズムかハーモニーか或ひは旋律である。フランスのクラヴサン奏者の Doubles, イギリスのヴァイオリン奏者の Division, スペインのリユート奏者の Diferencias 等は總て Variation の本質にかなふものであつた。是等の變奏曲は純粹に音型から行くのであるが、ハイドン、モーツァルトの變奏曲になると、主題が長調から短調に變へられたり、拍子が拍子から拍子や拍子に變へられたり、リズムが正リズムから切分法的になつたり、或る時は主題が隠されて、輝やかなしい對比主題が現はれたり、旋律が擴張されたり、縮小されたり、大部複雑になつて來てゐる。昔の Doubles は常に調性が最後まで確立されてゐたが、近代に至つては好んで對比調性を使用し、形式上の變化のみならず、主題の特性を凡ゆる角度から見やうとする様になつた。模範的な變奏曲の型と云ふと、ベッハの Goldberg-Variationen, ベートーヴェンのへ長調變奏曲、ディアベリの變奏曲、シューバートの變ロ長調變奏曲、メンデルスゾーンの Variations sérieuses, ブラームスのヘンデル變奏曲、サンサーンのベートーヴェン變奏曲がある。  
**Variato** (伊 ヴァリアート) **Varlé** (佛 ヴァリエ) 變奏曲風な、變奏的な。  
**Variété** (佛 ヴァリエテ) 寄席、見世物、フランスでミュージック・ホールと稱されるものに、見世物としてのレヴューとヴァリエテの二つがある。ヴァリエテの方はレヴューに比較すると、寧ろサーカ

スに似て居る。サーカスとヴァリエテの相異なる點は、サーカスには道化師が居るのに對してヴァリエテには歌手が居る。番組等は全く同じであるが、其演出法が相異なる。ヴァリエテの起原は移動サーカスの中に見出し得る。ヴァリエテは歐洲大戰後フランスに近代の見世物として擡頭した。彼の著名なランビールの舞臺ではサーカスの本物のピストが出来る。番組の中に大きな機械に依る輕業、例へば自動車の曲飛び、ブランコその他があつて、危険な肉體的訓練の技術的完成から來る近代的な美しさとスリルを見せて居る。日本語に譯して強いて云ふならば寄席とでも云ふべきであらう。  
**Variieren** (獨 ヴァリイレーン) 變奏する。變奏曲にする。  
**Varsoviana** (伊 ヴァルソヴィアーナ) **Varsoviennne** (佛 ヴァルソヴィアンヌ) 拍子のポーランドの舞曲。  
**Vaudville** (佛 ヴォードヴィル) アメリカでは歌やダンス、輕業等を交互に演じて見せる娛樂の事を意味して居る。英國では主としてヴァライティー劇場 Variety Theatre と云つて、ヴォードヴィルなる言葉は殆んど使用しないが、英國で云ふヴォードヴィルはアメリカのミュージカル・コメディ若くはレヴューに相當する。ヴォードヴィルの起原はアメリカでは既に1883年にはヴォードが生れて居た。曲馬園の親分のペンチャミン・フランクリン・キースがボストンの小さな菓子屋の空室を借りて、さゝやかな見世物を出したのが今日のヴォードヴィルの始りで、今日ではヴォードヴィルは、大衆の娛樂として重要性を持つたものとして扱はれて居る。  
**Vc. Violincello** の略。 「強き。  
**Veemente** (伊 ヴェーメンテ) 激しき、  
**Velled voce** (英 ヴェイルド・ヴォーチェ) 曇りたる。  
**Velata** (伊 ヴェラタ) 曇りたる。  
**Vellutato** (伊 ヴェルタート) ピロー



ドの如き、滑らかな。

**Veloce** (伊 ヴェローチェ) 速く、急いで。

**Venezianische Schule** (獨 ヴェネツィアニッシェ・シューレ) ヴェニス楽派。ネーデルランド人アドリアン・ヴィレールによつて土臺を置かれたもので、1527年ヴェニスのマルクス寺院の樂長になり、當時歐洲樂界の中心勢力であつたネーデルランド樂派はヴィレールによつてイタリアへ移入され、こゝに新しい生命を見出したのであつた。ヴィレールの弟子にはカプリアノ・デ・ローレ、ニコラ・ヴィチエンツィーノ、ヨセフォ・ツァルリーノ及びアンドレア・ガブリエロがある。ヴェニス樂派の特質は多部合唱曲で、その曲の組立が絢爛なものであつた爲めに「絢爛樂派」とも呼ばれた。又、ヴィレールは轉調を半音階的に自由にした人であり、無伴奏ドリガルの協同創作者であつた。

**Ventage** (英 ヴェンテージ) 笛類の押へ穴。

**Ventil** (英 ヴェンティル) **Ventile** (獨、伊 ヴェンティール) **Ventus** (羅 ヴェントゥス) 送風装置。I. オルガンの送風装置。II. 金管樂器の Valve。ホルン、トラムペット、コルネット、トロンボーン、等に此の装置が施されて、一々挿管を變へないで所望の調を出し得る。

**Venusto** (伊 ヴェスタースト) 高尚な、優雅な。

**Vesper** (佛 ヴェーブル) 晩誦歌。

**Veränderung** (獨 フェルエンデルンク) 變奏曲。

**Verbindung** (獨 フェルビンドゥンク) 結合、連合。

**Verbindungszeichen** (獨 フェルビンドゥングスツァイヘン) 結音記號(即ちスラーの記號)。

**Verdeckt** (獨 フェルデックト) 隠伏の。

**Verdeckte Quinte** (獨 フェルデックテ・クインテ) 隠伏五度。耳のみに感じ、樂譜上には現はれてゐないもので「耳

の五度 Ohrenquinte」とも云ふ。

**Verdoppelte** (獨 フェルドッペルテ) 重複したる。

**Verein** (獨 フェライン) 協會、團體、集會。

**Vergehen** (獨 フェルゲーエン) 次第に消えて行く。

**Vergeistert** (獨 フェルガイステルト) 精神をこめて。

**Vergleichende Musikwissenschaft** (獨 フェルグライヘンデ・ムジークヴィッセンシャフト) 比較音樂學。20世紀に入いつてから云はれだした音樂學で、歐洲以外の國民と土人との音樂的所産を蒐集、保存、比較し、研究する學問である。その爲めに蓄音樂が極めて重要な手段になつてゐる。

**Vergrößerung** (獨 フェルグレイセレンク) 延長法、主題の各音の時間を長くして伸張すること。

**Verhallend** (獨 フェルハッレンド) 次第に消ゆる様に。

**Verilay** (英 ヴェーリレイ) ヴォードピ

**Verillon** (佛 ヴェリヨン) ガラスのコップに水をたゝへてそれを音列に並べた樂器。

**Verismo** (伊 ヴェリスモ) 現實派歌劇、伊太利歌劇の様式名。民衆生活に題材を求めたもので、マスカーニの「カブレッリア・ルスチカーナ」などはヴェリスモである。

**Verkehrung** (獨 フェルケールンク) 轉回模倣句。

**Verkleinerung** (獨 フェルクラインエルンク) **Verkürzung** (獨 フェルキユルツンク) 短縮法。主題や動機の時間的短縮。逍走曲に於ける緊迫の時に屢々採用さる。然し、自由な作曲の場合にも用ゐられることがある。

**Verlagsrecht** (獨 フェルラーグスレヒト) 出版權。Copyright

**Verlängerung** (獨 フェルレンゲルンク) 延長法、主題を時間的に延長すること。Verkürzung の反對。

**Verlängerungszeichen** (獨 フェルレンゲルンク) 音符延長記號。即ち音符に附く附點。

**Verlauf** (獨 フェルラウフ) 進行。

**Vermindert** (獨 フェルミンデルト) 減の。

**Verminderte Dreiklang** (獨 フェルミンデルテ・ドライクラング) 減三和音。

**Verminderte Intervall** (獨 フェルミンデルテ・インテルヴァル) 減音程。

**Verminderte Septimakkord** (獨 フェルミンデルテ・ゼプティームアッコर्ड) 減七の和絃。

**Vermittelungssatz** (獨 フェルミッテルングスザッツ) 挿話、(樂式の)挿入部、エピソード。ソナタ形式の樂曲にあつて、第一部(提示部)の第二樂節で第一主題と第二主題との間にあつて兩者の仲介をなすものである。故に「轉調樂節 Modulations=satz」とも云ふ。

**Vernehmlich** (獨 フェルネームリッヒ) 明瞭なる。

**Vers** (獨 フェルス) **Verse** (英 ヴェース) 詩句。

**Verschiebung** (獨 フェルシーブンク) 鍵盤の移動。弱音ペダル(左)を踏むと鍵盤が左へ移動し、その結果絃を三絃の所二絃或は一絃だけ打つことになる。

**Verschänkung** (獨 フェルシュレングング) 樂句接續。

**Versett** (獨 フェルゼット) **Versetto** (伊 ヴェルゼット) **Verso** (西 ヴェルソ) I. 詩句。II. オルガンの小間奏曲。各詩句の間で演奏する。

**Versettieren** (獨 フェルゼッティエレン) 間奏曲を作る。

**Versetzung** (獨 フェルゼツフンク) 轉位。或る旋律型を同じ調の他の度の上で再現する事。轉調とは異なる(音程の點で)。

**Versetzungszeichen** (獨 フェルゼツフンク) 臨時記號。即ち、

♭#リ等。

**Versicle** (英 ヴァーシクル) 誦句。

**Versilare** (伊 ヴェルシラーレ) 誦句を對唱する。

**Versi sciolti** (伊 ヴェルシ・シヨルテ) 「イ」無韻詩。

**Verspäterung** (獨 フェルシュペーテルンク) 速度を遅くすること。

**Verstärkt** (獨 フェルシュテルクト) 音を強くして。

**Verstimmen** (獨 フェルシュティムメン) 調子を外す。

**Verto** (羅 ヴェルト) 譯面をまくる。

**Vertical slur** (英 ヴァーティカル・スラー) 縦の連結線、即ち和絃にスラーを懸けて、アルペヂョの奏法を指示す。

**Verträumt** (獨 フェルトロイムト) 夢心地で、柔らかく。

**Verve** (佛 ヴェルヴ) 元氣、力。

**Verwandschaft** (獨 フェルワントシャフト) 親近調。

**Verzierung** (獨 フェルツィールンク) 裝飾音、裝飾法。轉位の記號或ひは小音符によつて現はされる旋律の裝飾。昔の聲樂曲或ひはヴァイオリン音樂に於ては演奏者が独自の見地から裝飾することが自由であつた。然し16世紀にオルガン・ピアノ及びリュートの作曲には裝飾記號を作曲者が特別につけることになつた。

**Verzögerung** (獨 フェルツェーゲルンク) 遅緩。

**Vesper** (獨 フェスベル) **Vesperl** (伊 ヴェスベリ) **Vespers** (英 ヴェスパーズ) 晩誦曲、(カトリック教の)。カトリックの大抵の祭は二つの晩誦曲を持つてゐる。一つは祭日の前晩に歌ふものであり、他の一つはその當日歌ふものである。まず司會者が Deus in adiutorium を歌へば、會衆が Domine in adjuvandum を歌ふ。斯くして五つの交互唱が歌はれる。

**Vezoso** (伊 ヴェツツォーゾ) 優美な、可

**Vezzosamento** (伊 ヴェツツォザメン



ト) 優美なる。

**Vibrante** (伊 ヴィブランテ) **Vibrato** (伊 ヴィブラート) 波音を以て。

**Vibration** (英 ヴァイブレーション) **Vibrazione** (伊 ヴィブラチオーネ) 振動。

**Vibrato** (伊 ヴィブラート) 音を震はせて、絃楽器では指を震はせて音を波動せしめる。聲樂にても同様の効果を。

**Vibrator** (英 ヴァイブレーター) 振動機。

**Vicenda** (伊 ヴィチェンダ) 變換。

**Vicino** (伊 ヴィチーノ) 近隣、側。

**Vide** (佛 ヴィド) **Vido** (伊 ヴィド) 開放の、自由の。

**Vi-de** (羅 ヴィーデ) ……を「見よ」

**Vi-el** (獨 フィール) 多き、澤山の。

**Viella** (伊 ヴィエラ) 中世紀のヴィオラ。スペイン語では Vihuela ドイツ語では Fidel ラテン語では Fidula と云ふ。そして此の楽器は Viola da Gamba によつて受けつがれて行つた。こゝから今日の我々の絃楽器も自然的に發展して來たのである。

**Vielle** (佛 ヴィエール) Lira tedesca (伊)、Viola da orbo, Hurdy-Gurdy, (英)、Drehleier (獨)、Bauernleier (獨)とも云ふ。10-12世紀に於ては今日のピアノと似た様な役目をしたらしい。楽器の構造は今日のと900年前のと殆んど同じで、絃楽器に似た共鳴胴を有し、その上に多数の絃が張られてある。10世紀頃にはこの楽器を Organistrum と云つてゐた。

**Vier** (獨 フィール) 四の。 「四絃。

**Vier Saiten** (獨 フィール・ザイテン)

**Vierstimmig** (獨 フィールシュティンミヒ) 四聲部。

**Viertel** (獨 フィールテル) 四分の一。

**Viertelnote** (獨 フィールテルノーテ) 四分音符。

**Viertelpause** (獨 フィールテルパウゼ)

四分休止符。 「ト) 四拍子。

**Viertertakt** (獨 フィールテルタクト)

**Viervierteltakt** (獨 フィールフィールテルタクト) 四分の四拍子。

**Viertelton** (獨 フィールテルトーン) 四半音。

**Vierteltonmusik** (獨 フィールテルトーンミュージック) 四分音音楽。四半音を以て構成した十二音階の組織に基く音楽。最初實際的に實驗して見たのは1906年にリヒャルト・シュタインであつた。その後ヴィルヘルム・フォン・メツレンドルフが1917年に四分音階によるハーモニウムを發表した。その後注目すべき試みは、アロイス・ハベの理論研究である。更に1927年フランクフルトで催された音楽祭ではアウラーモフが純粹調律による四分音を提案した。又、アウグスト・フェルスター會社では四分音ピアノを組立てた。

**Vierzehn** (獨 フィールツェーン) 十四。

**Vierzennte** (獨 フィールツェンテ) 十四度。

**Vietato** (伊 ヴィエタート) 禁止の。

**Vigerosamente** (伊 ヴィゴロザメンテ) 力強く、荒く。 「荒々しき。

**Vigeroso** (伊 ヴィゴロゾ) 力強い、

**Vihuela** (西 ヴィフエラ) Viola の前代楽器、Viella に同じ。

**Villageois** (佛 ヴィラヂョア) 田園的

**Villancico** (西 ヴィランツィーコ) スペイン教會音楽の一種。

**Villanella** (伊 ヴィラネラ) 「街の歌」 鄙歌、15世紀頃流行した伊太利の舞曲風の合唱曲。

**Villanesco** (伊 ヴィラネスコ) **Villareccio** (伊 ヴィラレッチョ) 田園的な。

**Villota** (伊 ヴィロータ) 舞曲風の民謡合唱曲、後に Villanella と 听になつた。

**Vina** (原 ヴィナ) 古代印度の絃楽器。印度の國民的樂器。彈絃樂器の一種である。

地方的に觀て樂器の形態を多少異にして居る。北方で行はれるものは其歴史が古く、南方のものは、中世以後西方より移されたマダチの影響に依るものらしい。北方のヴィナは、長さ一米位の筒形の胴に十九箇の駒があり、これに四本の金屬絃を張り、その上下に大きな宛形の共鳴胴が附いて居る。奏者はその筒を恰も三味線の如くに持ち、右手の指で絃を弾ずる。但し二箇の宛の中で、上方のものは左肩へ、下方のものは右腰の所へ挟む。南方のヴィナは、マンドラに似た大きな胴を有し、是れは棹があつて、其上方一箇の宛形共鳴胴が附してある。上半は北方のヴィナに類し、下半はマンドラ形のマダチに類して居る絃数は四、駒は十九、其奏法は北方のヴィナと同じものである。但し胴は右膝の右下に置く。獨奏、合奏、歌の伴奏にも用ゐる。

**Vinata** (伊 ヴィナター) **Vinetta** (伊 ヴィネッタ) 酒宴歌、酒造歌。

**Vingt-quarte violons du Roi** (佛 ヴァン・カール・ヴィオロン・デュ・ロア) 24人のヴァイオリン奏者から成立する小管絃樂。

**Viol** (伊、ヴィオル) ヴァイオリン屬の用弓絃樂器を總稱して昔言はれた英語である。15世紀頃發明され18世紀頃まで一般に用ゐられたが、今は用ゐられない。ヴァイオリンと異るところは、ヴァイオリンは四本の絃であるが、ヴィオルは六本の絃を有しギターの如く勘所を示す桁が指板に附せられて居る。形の大小に依つてヴィオローネ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、ヴィオラ・ダ・ブラッチョ等の種類がある。此他に高音ヴィオルと云ふ今日のヴィオリンの祖先樂器を爲すものもある。

**Viola** (伊 ヴィオラ) ヴァイオリンよりは一まはり大きいヴァイオリン屬の絃樂器。フルト Alto. と云はれるところから中音ヴァイオリン等と昔は云はれたが今はヴィオラで一般に通じて居る。音色

は低音はセロに、高音はヴァイオリンに似て絃樂四重奏オーケストラにはヴァイオリン及びセロと共になければならぬ重要な樂器で其奏法や性能はヴァイオリンと同じである。ヴァイオリンより五度低い音域を有して居て四本の絃は次の如く調絃される。



**Viola bastarda** (伊 ヴィオラ・バスターダ) Viola da gamba よりも大きい樂器で六或は七絃である。

**Viola d'amore** (伊 ヴィオラ・ダ・モレ) 七絃のヴィオラ。

**Viola da braccio** (伊 ヴィオラ・ダ・ブラッチョ) 「腕のヴィオラ」ヴィオル屬の絃樂器の中音樂器の名で、現今のヴィオラの祖先樂器である。ブラッチョはイタリア語の腕と云ふ字で、腕で支へ奏するヴィオルと云ふ意味である此意味からしてドイツでは、ヴィオラの事をブラッチェ Bratsche と呼んで居る。

**Viola da Gamba** (伊 ヴィオラ・ダ・ガムバ) 「膝のヴィオル」ヴィオル屬絃樂器の低音樂器で、現今のセロの祖先樂器である。ガンバはイタリア語で膝と云ふ意味で、膝ではさんで奏するヴィオルと云ふ意味である。またパイプオルガンの低音音栓でもある。

**Viola pomposa** (伊 ヴィオラ・ポムポーザ) Violoncello piccolo に同じ。

**Violento** (伊 ヴィオレント) 激しき。

**Violentamente** (伊 ヴィオレントメンテ) 激しく。

**Violet** (英 ヴァイオレット) English violet と云ふ。Viola d'amore に似た小形の絃樂器。

**Violetta** (伊 ヴィオレッタ) 小形のヴィオラ Diskantviol (最高音のヴィオル) と



も云ふ。16、7世紀に屢々用ゐられたもので、三絃、或ひは四絃のものである。

Violin (英 ヴァイオリン) Violine

(獨 ヴィオリネ) Violono (伊 ヴィオローネ) Violon (佛 ヴィオロン) 最も代表的な絃楽器で四絃の撥絃楽器。四本の絃を有する絃楽器で、弓を用ゐて音を發する楽器中、最も進歩したものであり、最も廣く用ゐられてゐるものである。其演奏法の最も發達せる事は言ふまでも無い。其四本の絃は次の如く調絃され、多種多様な表現能力の點に於て絃楽器中の王とされて居る。音色は甚だ美しく低音は莊重、中音柔軟優美、高音は清澄華麗で、獨奏樂器としては最も優秀な性能を持つて居る。普通の奏法の他に、フラジオレット・スルポンティチェルロ・ツルデイノ・スタカート、ピチカート、等の奏法に依つて千變萬化の演奏効果をあげる事が出来る。イタリー語ではヴィオリノ、フランス語ではヴィオロン、ドイツ語ではヴィオリネと云ふ。また此語はヴァイオリンの音色に似たパイプオルガンの音栓の名稱である。



Violin music (英 ヴァイオリン・ミュージック) ヴァイオリン音楽。ヴァイオリン音楽の祖と見られるのは、16世紀から17世紀の始め頃、リュート及びヴァイオルが、主として歌の伴奏に用ゐられたのが始めであり嚴密な意義から云つて眞のヴァイオリン音楽としての形態を持つたものは存在しなかつた。17世紀末ヴァイオリンがイタリーに於ける名匠クレモナ等に依つて樂器として完成されて以來

獨奏樂器として、他の樂器と競争を爲し得るに成り、從來の伴奏樂器から一躍獨奏樂器と成り純樂器として、ソナタ、コンチェルト、等の獨奏、合奏形式を生む様に至つた。此時代に出たヴァイオリン音楽の貢獻者で特筆すべき人にタルティーニが居る。此タルティーニは、バドゥア樂派の祖とまで云はれた人で此人の創作活動の影響はボヘミヤ、遠くは中歐諸國にまで及んだ。そして其感化は、マンハイム樂派にまで及ぼして居る。此時代に至つてから樂器が完成され其結果當時の演奏活動に於て創作活動に於て多くの影響が與へられたわけだ。就中重要なのは、ドイツのマンハイム樂派の祖ヨハン・シュターミッツ (1717-57) で、其子のヨハン及びガールを始めとし、ポッケリーニ (1743-1805) ゴッセック (1734-1829) 等が近世樂器形式を創めた。イタリー古典派に基礎を置いた、ソナタ、コンチェルト形式は極めて單純な形態であつたがマンハイム樂派に依つて組織の複雑さを加へると共に、イタリー古典派に見られない各種の形式的要素が入り込んで、其内容も明朗な南歐の單純さよりも、深味のある暗いドイツ風のものとなつた。此時代のドイツに於ける代表的作曲家にベツハ (1685-1750) ヘンデル (1685-1759) 等が居る。前者は無伴奏のソナタと古典的コンチェルトを作り、後者のソナタは共に有名である。ヘンデルのソナタは後で行はれた様なピアノとの合奏曲では無かつた。ベツハの無伴奏のソナタは、半ば種々の性質を異にする舞踊曲の組曲である。ベツハの音楽は個人的感情を交へない音樂的形式主義者で、其作は對位法に依る複音樂に屬するが、此等を和聲法による單音樂形式を用ゐ、精神の音樂にまで高めたのはベートヴェン (1700-1825) ハイドン (1723-1803) モーツァルト (1756-91) 等の樂聖に依つてマンハイム派の創設した樂器形式が完成した。華ラソ

ナタ形式を始めとし、各種の器樂形式は發達と完成を與へられ、ソナタにあつては、洋琴が提琴と同等の重要性を持ち、コンチェトでは獨奏樂器が、遙かに複雑な技巧を要求すると共に、管絃樂の組織も充實擴大されて來た。ブラームス (1832-1897) は其代表的作家である。ベートーヴェンが内容的なドイツ音樂を創造した時、イタリーからは華かな技巧的な作風が起り各國の提琴樂は其影響を受けた此派の代表的作家にはヴィ・オットーニ (1793-1824) バガニーニ (1783-1840) 等が居る。19世紀に入ると民族的自覺が民族的特質を強く反映した種々の作品によつて、提琴樂を多岐多彩ならしめた。チャイコフスキー (1840-1893) グリーク (1843-1907) フバイ (1858-) 等は其代表的作家である。そして20世紀に入るや、思想界の急變は、一般藝術界を動し、種種の近代的思想の影響の下に作曲するものが出た。グラーズノフ (1865-) リヒャルト・シュトラウス (1864-) プロコフィエフ (1891-) 等其代表的作曲家である。其他提琴樂で重大な分野をなすものに、無数の改編曲がある。歌調、歌曲、洋琴曲等を提琴曲用に編曲したもので、ヨアキム (1831-1907) クライスラー (1875-) 等が居る。

Violin clef (英 ヴァイオリン・クレフ) Violineschlüssel (獨 ヴィオリネシュリュッセル) 高音部記號、ト字(G)記號。

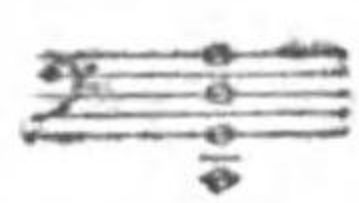
Violinata (伊 ヴィオリータ) I. ヴァイオリン曲。II. ヴァイオリンの音を模した樂曲。

Violinist (英 ヴァイオリニスト) Violinista (伊 ヴィオリニスタ) ヴァイオリニ奏者。

Violino piccolo (伊 ヴィオリーノ・ピッコローロ) 小形ヴァイオリン。普通のヴァイオリンの四分の一位の大きさ。

Violon (佛 ヴィオロン) I. ヴァイオリ

ン。II. コントラバス。Violoncello (伊 ヴィオロンチェロ) 略して Cello とも云ふ。Viola da Gamba から發達して來たもので、Violoncello と云ふ名は、コントラバスに當る Violone の縮少語である。Cello とはイタリーで「小さい」と云ふ語である。中世紀から古典時代にかけては家庭用の樂器として主に婦人に愛用され、J. S. バッハも Gamba の爲めに組曲してゐる。Cello を最初に作つた人はアンドレアス・アマティ (1520-1577) で1572年に法王ピウス5世がフランス王に贈つた38調のヴィオル属の中に Cello が發見される。Cello は始めから獨奏樂器として使用されてゐたもので、1661年にはドメニコ・ガリが奏法を發表して居り、18世紀前半にはアントニオ・ホッチャランツェティが Cello の爲めの作曲をしてゐる。現在の Cello の奏法を確立した人は Louis Duport (1749-1819) で、後に卓越したチェロの奏者が現はれた。Cello は四本の絃を持ち Viola の八度下に合される。樂譜はヘ字記號で書かれるが高音域はハ字記號及びト字記號でも書かれる。



Violoncello piccolo (伊 ヴィオロンチェロ・ピッコローロ) チェロとヴィオラとの中間の大きさで五絃のもので、J. S. バッハの創意に係る。

Violone (伊 ヴィオローネ) 「大きなヴァイオリン」現代のコントラバスの前代樂器。

Violoniste (佛 ヴィオロニスト) ヴァイオリニ奏者。 「じ。

Virelai (佛 ヴィルレイ) Rondeau に同

Virga (羅 ヴィルガ) 形象音符の一。

Virgil klavier (獨 ヴィルギル・クラヴィール) 技術練習の無音ピアノ。1892年アメリカ人 Almon Kincaid Virgil が



特許をとつたもの。1895年ロンドンでこれを使用し「Virgil Clavir School」を設立した。

**Virginal** (英 ヴァージナル) Spinett の古名。特に英國に於て。

**Virginalbook** (英 ヴァージナル・ブック) 英國のピアノ樂譜で手記されたもの。合本。

**Virtuose** (獨 ヴィルトゥオーゼ) **Virtuose** (英 ヴァーチュオーゾ) 演奏大家。聲樂に於ける名人の全盛期は18世紀のナポリ派全盛期に於てであつた。ヴァイオリンは17世紀の始め以來18世紀のヴェラツィーニ、ロカテリ・タルティーニの時代に於て最高頂に達し、ピアノはハンマークラフィールの發達後盛んになつた。

**Virtuosität** (獨 ヴィルトゥージタート) **Virtuosity** (英 ヴァーツォーシティー) 名人氣質。

**Vis à vis** (佛 ヴィ・ザ・ヴィ) 二列の鍵盤が向合つてゐるハープシコード。

**Vista** (伊 ヴィスタ) 一瞥。a prima vista 一瞥して。即ち樂譜を見て直ぐ演奏すること。「速に。」

**Vistamente** (伊 ヴィスタメンテ) 快

**Visto** (伊 ヴィスト) 快速なる。

**Vitamente** (伊 ヴィタメンテ) 快活に迅速に。

**Vite** (佛 ヴィート) **Vitement** (佛 ヴィートマン) I. 急速なる。II. allegroアレグロ。

**Vivace** (伊 ヴィヴァーチェ) 生々として、快速な、allegro よりも速き。

**Vivacissimo** (伊 ヴィヴァチッシモ) 非常に快速なる。

**Vive** (佛 ヴィーヴ) **Vivente** (伊 ヴィヴェンテ) 快活に、元氣に。「速に。」

**Vivo** (伊 ヴィーヴォ) 元氣に満ちて、快

**Vivissimo** (伊 ヴィヴィッシモ) 頗る快速に。

**Vocal** (英 ヴォーカル) 聲樂の、聲唱の。

**Vocal music** (英 ヴォーカル・ミュージック) 聲樂曲。「聲帶。」

**Vocal cords** (英 ヴォーカル・コーズ) 喉嚨。

**Vocal organ** (英 ヴォーカル・オーガン) 發聲機關。

**Vocal score** (英 ヴォーカル・スコア) 歌唱用樂譜、歌劇脚本。「唱。」

**Vocal solo** (英 ヴォーカル・ソロ) 獨

**Vocalezze** (伊 ヴォカレッツォ) **Vocalise** (佛 ヴォカリーズ) 歌詞を附さずに、唯聲だけの即ち母音だけの歌唱練習。

**Vocallion** (英 ヴォーケリオン) ハーモニウム的一種。

**Voce** (伊 ヴォーチェ) I. 聲。Vocipari 同聲で、Mezzavoce 半分の聲で、Sottovoce 静かな聲で、Colla voce 聲樂の聲で。II. 聲部。

**Voce di petto** (伊 ヴォーチェ・ディ・ペット) 胸聲。

**Voce di testa** (伊 ヴォーチェ・ディ・テスタ) 頭聲。「大きな聲で。」

**Voce piena** (伊 ヴォーチェ・ピエナ)

**Voces aequales** (獨 ヴォーチェス・エカレス) 同聲部。

**Voci pari** (伊 ヴォーチ・パリア) 齊唱。

**Vogelgesang** (獨 フォーゲルゲザンク) 鳥の歌、鳥の聲を眞似し、描寫した

**Voglia** (伊 ヴォーリヤ) 憧憬。「歌。」

**Voice** (英 ヴォイス) 聲、音聲。

**Voice production** (英 ヴォイス・プロダクション) **Voice placing** (英 ヴォイス・プレーシング) 發聲、發聲法。「た聲。」

**Voilé** (佛 ヴォアレ) 弱音した聲、抑音し

**Voix** (佛 ヴォワ) 聲、音聲。

**Voix aigre** (佛 ヴォワ・エーグル) 高い音聲。

**Voix blanche** (佛 ヴォワ・ブランシュ) 明るい音色の聲。

**Voix de poitrine** (佛 ヴォワ・ド・ポアトリーン) 胸聲。

**Voix mixte** (佛 ボワ・ミクスト) 換

聲域。中音域に於ける發聲技巧法。胸聲と頭聲との換聲區域を云ふのであつて、特に男聲發聲の技巧である。

**Voix sombre** (佛 ヴォワ・ソムブレ) 圓く幅の廣い、幾らか暗い音色の聲。

**Vokal** (獨 ヴォカール) 聲樂の。

**Vokalisation** (獨 ヴォーカリザチオン) 發聲、發聲法。

**Vokalmusik** (獨 ヴォーカールムジーク) 聲樂。即ち歌ふ聲の爲めに書かれた音樂。グレゴリア讚歌、各種の歌曲、アリアとソロカンタータ、レミタチーフ、アリオソ、合唱曲、マドリガル、モテット、オラトリウム、パッション、合唱カンタータ、唱歌劇、歌劇、喜歌劇等はVokalmusik の中にはいる。

**Volante** (伊 ヴォランテ) 快速な。

**Volate** (伊 ヴォラーテ) **Volatine** (伊 ヴォラティーネ) 歌唱に於ける小經過句。

**Volkshymne** (獨 フォルクスヒムネ) 國民の愛國歌、國歌。「誦。」

**Volklied** (獨 フォルクスリート) 民

**Voll** (獨 フォル) 一杯の、満ちたる。

**Volles Orchester** (獨 フォルレス・オルケステル) 大管絃樂。

**Volles Werk** (獨 フォルレス・ヴェルク) 總ての音域を使用する輝くばかり強きオルガン曲を云ふ。

**Vollkommen** (獨 フォルkommen) 完全なる。

**Volonté** (佛 ヴォロンテ) 希望、a volonté (任意に)。

**Volta** (伊 ヴォルタ) I. 回、度、例 due volte (ドゥエ・ヴォルテ) 二回、la prima volta (ラ・プリマ・ヴォルテ) 第一回、II. 三拍子の非常に急速に動く舞踏、男性舞踏者が女性舞踏者の周圍を急轉するもの。

**Volteggiando** (伊 ヴォルテッチャンド) 兩手を交錯してピアノを奏すること。

**Volteggiare** (伊 ヴォルテッチャーレ) 交錯せよ。

**Volti** (伊 ヴォルチ) 頁をめくれ。

**Volti subito** (伊 ヴォルチ・スビート) 速く頁をめくれ。

**Volubilmente** (伊 ヴォルビルメンテ) 流暢に。

**Volume** (英 ヴォリューム) 音量。樂器または人聲に於ける音の分量。即ち音の高低、強弱に關せず、音の大小に於ける比較をいふ語。例へば洋樂器は概して和樂器よりも音量大なりといひ、或ひは女聲は男聲より比較的音量小なりといふ如きものである。

**Voluntary** (英 ヴォランテリー) 即興曲、特に自由なるオルガン演奏。

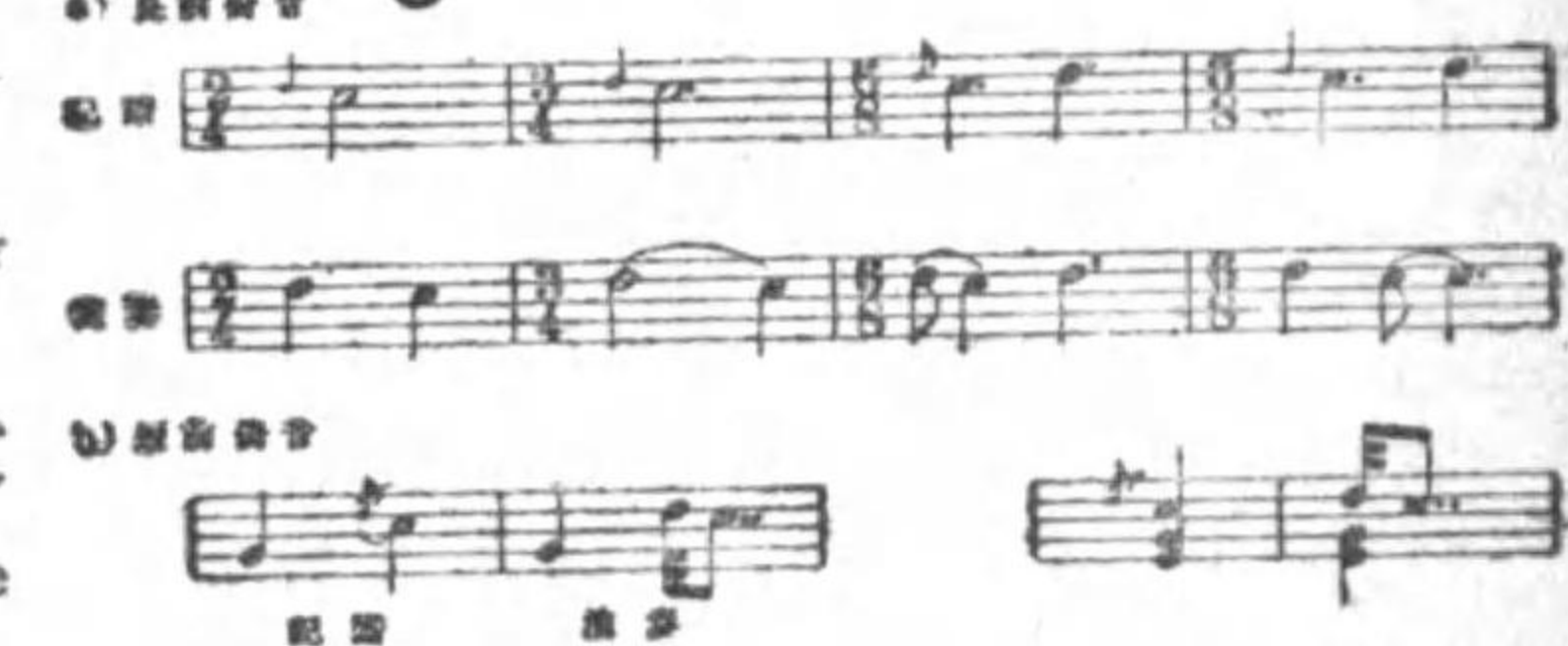
**Voluta** (伊 ヴォルータ) **Volute** (佛 ヴォリュート) ヴァイオリンの糸巻。

**Vorausnahme** (獨 フォールアウスナーメ) 先取音。來る可き和絃の音の先取(前出)。「前樂句。」

**Vordersatz** (獨 フォールデルザッツ)

**Vorhalt** (獨 フォールハルト) 聲留。和音の連結の際、全聲音中、一聲或は數聲音が一時保留され殘餘だけが次の和音に進行すること、suspension に同じ。

**Vorschlag** (獨 フォールシュラーク) 前倚音(裝飾音の一)。



**Vorspiel** (獨 フォールシュピール) 前奏曲。「表現。」

**Vortrag** (獨 フォールトラーク) 演奏、

**Vortragszeichen** (獨 フォールトラークスツァイヘン) 表情記號。速度記







眠り行く子供の姿、守りをする母の心を描いた藝術的に高い位置を持つたものである。この意味でシューマンの『トロメライ』もこの中に入れることが出来る。子守歌は大部分二拍子、四拍子、或ひは六拍子で歌はれ、静けさを描くものであるだけ、そこには劇的要素や、クライマックスの如きものはなく、終始単調に静かに緩かに進まされる。

- Wild (獨 ヴィルド) 荒々しき。
Windharfe (獨 ヴィンドハルフェ) 風で音が出るハープ。
Wind instrument (英 ウィンド・インストゥルメント) 吹奏楽器。
Windkasten (獨 ウィンドカステン) オルガンの風囊。
Wirbel (獨 ヴィルベル) I. 太鼓のすり音。II. 弓の背で絃を擦ること。
Wirbelkasten (獨 ウィルベルカステン) ヴァイオリンの頸部。
Wohlklang (獨 ヴォールクラング)
Wohllaut (獨 ヴォールラウト) 協和音、和音。
Wohltemperierte (獨 ウォールテムペリールテ) 平均率の。
Wohltemperierte Klavier (獨 ヴォールテムペリールテ・クラヴィアール)

ル) ベッハまでの音楽は純正調で書かれ鍵盤楽器もそれによつて調律されてきたが、音響學上純正律と云ふものが轉調の自由を制限した。例へば C dur の C は Es dur の六度としての C とは純正率的には一致をしないのである。この不便さのために、ベッハはアンドレアス・ヴェルクマイスターに提案し、オクターヴを學的に正しく12の半音程に等分することによつて調律したピアノを作らせた。此處に於て近世和聲學の基礎が置かれたのである。これを平均率洋琴と云ふ。ベッハは此の楽器の爲めに長調と短調、即ち24の異つた調に於て進走曲と前奏曲とを各各一つ宛作曲して合計48曲の「Das wohltemperierte Klavier」を作つた。

- Wolf (英 ウルフ) 不協和音、混濁音。
Wood (英 ウッド) 木。木管楽器。
Wood brocks (英 ウッド・ブロックス) 木魚。原始楽器で、現代のジャズに於て打楽器として使はる。
Wood wind instrument (英 ウッド・ウインド・インストルメント) 木管楽器。
Wrest (英 レスト) 調率用ハンマー。
Wrist (英 リスト) 手首。
Wütend (獨 ウューテンド) 激怒して。

K

- Xänorphika (獨 クセノルフィーカ) 絃楽器に鍵盤を取りつけたもので1801年 Rölling ロェクリングが創製。
Xylharmonikon (獨 クジルハルモニコン) 木琴に鍵盤の打拍作用を應用した楽器。
Xylophone (英 ダイロフォーン)

Xylophon (獨 クシロフォーン) 木琴。木片を並べて匙様の撥で打つ楽器。音色は乾枯びてゐるが、朗らかで、軽快な感じがする。音域は大體次音の如し。



Y

- Yabel (原 ヤーベル) ヘブライの喇叭吹奏。
Yo (原 ヨー) 印度の笛の名。
Yodel (英 ヨーデル) Yodle (英 ヨーデル)

ードル) Yodler (英 ヨードラー) Jodel に同じ、瑞西及びチロールの民謡で、胸聲と頭聲で激しく交互に唱ふ無言歌。

Z

- Zaleo (英 ザレオ) スペインの舞曲。
Zamacueca (英 ザマキューカ) チリーの舞曲。
Zamba (英 ザムバ) 南アメリカの舞曲。チリーに起る。現在では北アメリカに移入され、社交ダンスの一種として愛好されてゐる。
Zampogna (伊 ザンポーニャ) 風笛。
Zapateado (西 サパテアード) 三拍子のスペインの特性的な舞曲。足を踏み鳴らしつゝ踊るものである。
Zarabanda (西 サラバンダ) Sarabande に同じ。
Zargen (獨 ツァルゲン) 絃楽器の胴體。
Zärtlich (獨 ツェルトリヒ) 優しき。
Zarzuela (西 サルスエラ) I. 對話を有する歌劇。II. 喜歌劇。Zaruzuela の作曲者を Zaruzuelo と云ふ。
Zauberflöte (獨 ツァウバーフロエテ) Pans'pipe に同じ。「の如き。
Zeffiroso (伊 ゼッフィローゾ) 微風
Zehn (獨 ツェーン) 十。
Zehnte (stufe) (獨 ツェンテ・シュトウフェ) 十度。
Zeichen (獨 ツァイヘン) 記號。
Zeit (獨 ツァイト) 速度、拍子。
Zeitmesser (獨 ツァイトメッサー) 拍節器、メトロノーム。
Zeitwort (獨 ザイトヴェルト) 時速

價值、音符の長さ。
Zeitmass (獨 ツァイトマス) 拍子。
Zergliederung (獨 ツェルグリーデーリング) 解剖。
Zerstreut (獨 ツェルシュトロイト) 和絃の密集せざる。
Ziehharmonika (獨 ツィーハルモニカ) 手風琴。「し。
Ziemlich (獨 ツィームリヒ) 稍、少
Ziemlich lang (獨 ツィームリヒ・ラング) 稍長く。
Zieren (獨 ツィーレン) 裝飾する。
Ziffer (獨 ツィッフェル) 數字記號。
Zigeuner (獨 ツィゴイナー) ジプシー。「イゼ) ジプシー。
Zigeunerweise (獨 ツィゴイナーヴァイゼ)
Zilafone (伊 ジラフォネ) 木琴。
Zimbal (獨 ツィムバル) Zimbaleon (獨 ツィムパロン) シンバル。「の歌。
Zigana (伊 ズィンガーナ) ジプシー
Zingaresca (伊 ジンガレスカ) ジプシーの歌或は舞曲。「。
Zingarese (伊 ジンガレーゼ) ジプシー。
Zingaro (伊 ジンガーロ) ジプシーの。
Zink (獨 ツィンク) Zinken (獨 ツィンケン) 古代の吹奏楽器で、今日の、ホルン、トラムペット、トロンボーン等の前代楽器。
Zirkelkanon (獨 ツィルケルカノン) 無限曲則曲。



**Zirpend** (獨 ツイルペンド) 蟲の鳴くやうに。「葦に。」

**Zischend** (獨 ツィッセルンド) 囁く。

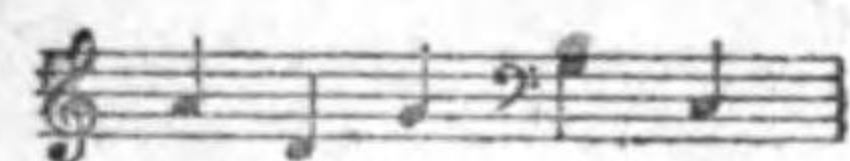
**Zisch** (獨 ツィッシュ) シッシッと云ふ高音。

**Zither** (獨 ツィーテル) ギター属の小さい絃楽器を云ふ。(長さ  $\frac{1}{2}$ m, 幅  $\frac{1}{4}$ m)。

絃は五絃で次ぎの様に調絃される。



バイオリン調絃



ヴァイオリン調絃

**Zittino** (伊 ヴィットイーノ) 休止。

**Zögernd** (獨 ツューゲルンド) ためらひつゝ、少し遅目に。「した。」

**Zoppo** (伊 ゴッポ) 跛行の、切分法に。

**Zornig** (獨 ツォルニヒ) いら立つて。

**Zortziko** (獨 ツォルトツィーコ) 三拍子のバスクの舞曲。

**Zu** (獨 ツー) I. ……へ、……にまで、II. 餘りに。「きる。」

**Zu schnell** (獨 ツー・シュネル) 速過

**Zuklang** (獨 ツークラング) 和音、齊音。「に。」

**Zuerst** (獨 ツーエルスト) 先づ最初

**Zufällige Versetzungszeich**  
**en** (獨 ツーフェリゲ・フェルゼツツング  
スツァイヘン) 臨時記號、b. ♯. 等。

**Zug** (獨 ツーク) I. オルガンの音栓。  
II. 金管楽器の滑走管。

**Zugtrompete** (獨 ツークトロムペー  
テ) 挿管トランペット。三個の半音の爲  
めに蓋口への挿管を有つてゐるもの。

**Zukunftsmusik** (獨 ツークンフト  
ムジーク) 未來音樂。ワーグナーの音樂  
に對するあだ名。

**Zunehmend** (獨 ツーネーメンド)  
次第に強さを増して、クレッシェンド。

**Zunft** (獨 ツunft) 音樂家組合。

**Zunge** (獨 ツング) 舌、瓣、簧。

**Zupfend** (獨 ツアップヘンド) *piccato*

に同じ。絃を指ではじいて。

**Zurückgehend** (獨 ツーリュックゲ  
ーエンド) 以前の様に、以前に戻つて。

**Zurückhaltend** (獨 ツーリュックハ  
ルテンド) 次第に遅く。

**Zusammen** (獨 ツーザンメン) 一所  
に、集合に、全部で。

**Zusammenlaut** (獨 ツーザンメン  
ラウト) 和音。

**Zusammenschlag** (獨 ツーザンメ  
ンシュラーク) 短倚音。

**Zusammenspiel** (獨 ツーザンメン  
シュビール) 合奏。

**Zusammenstreichung** (獨 ツー  
ザンメンシュトライヒウング) 絃音帯、連

**Zwei** (獨 ツワイ) 二。「結線。」

**Zweigestrichen** (獨 ツワイゲシュ  
トリッヘン) 複絃線。

**Zweihalbtakt** (獨 ツワイハルブタ  
クト) 二分の二拍子。「兩手で。」

**Zweihändig** (獨 ツワイヘンディヒ)

**Zweistimmiger Satz** (獨 ツワイ  
シュティンミゲル・ザッツ) 二聲部樂曲。

**Zweite Lage** (獨 ツワイテ・ラーゲ)  
第二位置(鼓樂奏法上の)。

**Zweite Ton** (獨 ツワイテトーン) 二  
度、第二音。

**Zweiter Taktteil** (獨 ツワイテ  
ル・タクトタイル) 第二拍。

**Zweitellige Form** (獨 ツワイタイ  
リゲ・フォルム) 二段形式。

**Zweite Umkehrung** (獨 ツワイ  
テ・ウムケールンク) 第二轉回。

**Zwischenakt** (獨 ツウィッシュンア  
クト) **Zwischenspiel** (獨 ツウィッ  
シュンシュビール) 間奏曲。

**Zwischenraum** (獨 ツウィッシェン  
ラウム) 譜線の間。

**Zwischensatz** (獨 ツウィッシェンザ  
ッツ) 挿入曲、エピソード。

**Zwölf Stufe** (獨 ツウェルフ・シュトフ  
ーフェ) 十二度。

## SUPPLEMENTS

### 簡記法及び簡略記譜法

**accel.**

**accomp.**

**adg.**

**ad lib.**

**allo.**

**allegro.**

**allegretto.**

**andno.**

**arc.**

**Arp.**

**arpegg.**

**ass.**

**a. t.**

**att.**

**B. c.**

**B. n.**

**B. r.**

**Cb.**

**Cad.**

**call.**

**Clar.**

**con esp.**

**Cor.**

**Cor. ingl.**

**eresc.**

**D. C.**

**D. S.**

**decresc.**

**diap.**

**dim.**

**dopp. ped.**

**express., espr.**

**f.**

**ff.**

**Fag.**

**Fl.**

**accelerando** 次第に速度を増して。

**accompanimento** 伴奏。

**adagio** 緩徐に。

**ad libitum** 随意の速度で。

**allegro** 快速に。

**allegretto** やや快速に。

**andante** Andanteより稍速く。

**ar.** 絃で。

**Arpa** ハープ。

**arpeggio, arpeggiando** 琶音。

**assai** 甚だ。

**a tempo** 元の速度で。

**attacca** 演奏を始めよ。

**Basso continuo** 通奏低音。

**Bassoon** ファゴット。

**Bratsche** ヴィオラ。

**Contrabass** コントラバス。

**Cadenza** 裝飾奏部。

**calando** 速度を速めて。

**Clarinete** クラリネット。

**con espressione** 表情を以て。

**Corno (Horn)** ホルン。

**English horn** イングリッシュ・ホルン。

**crescendo** 漸強。

**de capo** 始めへ還れ。

**dal segno** 記號の所から。

**decrescendo** 漸弱。

**diapason** 八度。

**diminuendo** 漸弱。

**doppio pedale** オルガンの踏板を兩方踏め。

**espressivo** 表現に充ちて。

**forte** 強。

**fortissimo** 最も強く。

**Fagotto** ファゴット。

**Flauto** フリュート。



<b>Fl. piece.</b>	Flauto piccolo ピッコロ。
<b>Flag.</b>	Flageolett 笛音 (ハーモニックス)。
<b>fz.</b>	forzando, forzato 各音に特に力を入れて。
<b>Haut.</b>	Hautboys, Oboe オーボエ。
<b>Htbl.</b>	Holzblasinstrument 木管楽器。
<b>Hr., Hrn.</b>	Horn ホルン。
<b>Intro.</b>	Introduction 序奏部。
<b>K. B.</b>	Kontrabass コントラバス。
<b>K. F.</b>	Kleineflöte ピッコロ。
<b>L.</b>	left; links 左。
<b>largh.</b>	larghetto 稍遅く。
<b>leg.</b>	legato 音をなめらかに。
<b>L. H.</b>	left hand 左手。
<b>lusing.</b>	lusingando 優さしく。
<b>m. d.</b>	main droite, mano destra 右手。
<b>m. g.</b>	main gauche 左手。
<b>Maj.</b>	majeur 長調。
<b>M. M.</b>	Mälzels Metronom メルツェルの拍節器。
<b>manc.</b>	mancando 漸次に弱く。
<b>marc.</b>	marcato 一音一音強く明瞭に。
<b>mf.</b>	mezzoforte 中庸の強さで。
<b>mod., moder.</b>	moderato 中庸の速度。
<b>mor.</b>	morendo 漸弱。
<b>mp.</b>	mezzopiano 中庸の弱さで。
<b>m. s.</b>	mano sinistra 右手。
<b>Ob.</b>	Oboe オーボエ。
<b>obb.</b>	obbligato 助奏。
<b>Op.</b>	Opus 作品。
<b>Ott., Ova.</b>	Ottava 八度。
<b>p.</b>	piano 弱。
<b>pp.</b>	pianissimo 最弱。
<b>Ped.</b>	Pedal ペダル。
<b>perd.</b>	perdendosi 漸弱。
<b>Pfte.</b>	Pianoforte 洋琴。
<b>pizz.</b>	pizzicato 指弾奏法。
<b>piece.</b>	piccolo ピッコロ。
<b>Prim</b>	prima, primo 第一、第一奏者。
<b>rall.</b>	rallentando 次第に遅く。
<b>Recit., Rec.</b>	recitative 詠唱。
<b>rf., rfz.</b>	rinforzando 急に強く。
<b>rit.</b>	ritardando 漸緩。
<b>R. H.</b>	right hand 右手。

<b>scherz.</b>	scherzando 諧謔的に。
<b>seg.</b>	segue 續く。
<b>sfz.</b>	storzando, sforzato アクセントをつけて。
<b>sim.</b>	simile 同様に。
<b>smorz.</b>	smorzando 漸弱。
<b>sord.</b>	con scrdino 弱音器をつけて。
<b>sost.</b>	sostenuto 音を保持して。
<b>S. S., S. sold.</b>	Senza sordini 弱音器無しで。
<b>S. T.</b>	senza tempo 速度にかまはずに。
<b>stacc.</b>	staccato 断音奏。
<b>string.</b>	stringendo 段々に速く。
<b>S. V.</b>	rotto voce 聲を少し弱めて。
<b>T.</b>	Tuti, Tenor 全部で、或はテノール。
<b>Tamb.</b>	Tamburo 太鼓。
<b>Tem., Tempo.</b>	Tempo 速度。
<b>Temp. prim.</b>	} Tempo primo 最初の速度。
<b>Temp. 1q.</b>	
<b>ten.</b>	tenuto 音を保持して。
<b>Timp.</b>	Timpani チンパニ。
<b>T. p.</b>	Tempo primo 最初の速度。
<b>Tr.</b>	Triller 顫音。
<b>trem.</b>	tremolando 振動しつつ。
<b>Tromb.</b>	Trombone トロンボーン。
<b>Tromp.</b>	Trompete トランペット。
<b>T. S. (t. s.)</b>	tasto solo 単鍵のみで。
<b>U. C. (u. s.)</b>	una corda I. 一絃で。II. ピアノの左のペダルを踏め。
<b>unis.</b>	unisono 同音で。
<b>Va.</b>	Viola ヴィオラ。
<b>Var</b>	Variation 變奏。
<b>Vcll.</b>	Violincello チェロ。
<b>Viol.</b>	Violin ヴァイオリン。
<b>v. s.</b>	volti subito 頁を直ぐめくれ。
<b>1 ma</b>	prima volta 第一回。
<b>2 da</b>	seconda volta 第二回。
<b>1 mo</b>	primo 第一。
<b>2 de</b>	second 第二。



# 簡略記譜法

Four staves of musical notation demonstrating shorthand notation. The first staff includes a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a 2/4 time signature. The notation uses various shorthand symbols for dynamics, articulation, and phrasing.

## 記譜上の諸記號

Two examples of musical notation. The first shows a repeat sign (two vertical lines with dots) over a staff. The second shows a staccato symbol (a vertical line with a flag) over a staff.

反復記號。

I. Lagato 記號。 II. 粘音記號。

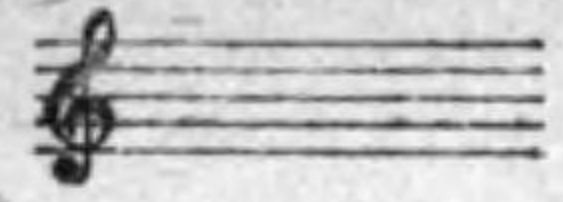
Staccato 記號。

下弓記號。

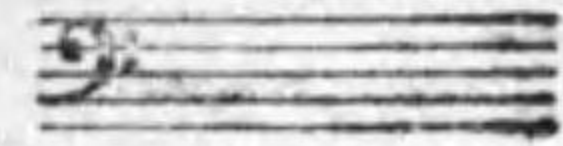
上弓記號。

	漸強 (crescendo) 記號。
	漸弱 (diminuendo) 記號。
	漸強の弱いもの。此の反對
	漸強の強いもの。此の反對
	開放絃記號。
	harmonics 記號。
	sforzato 記號。
	Agogik 記號。
	arpeggio 記號。
	回音裝飾音符記號。
	顫音記號。
	短延音記號 (little Fermato)。
	普通延音記號 (normal Fermato)。
	長延音記號 (long Fermato)。
	Segno. (此の記號の所から此の記號の所まで奏せ)。
	ピアノのペダル記號 (即ち開始より終止まで)。
	ペダル記號 (ピアノの右のペダルを踏み始める)。
	ペダル中止記號 (踏んだペダルの中止する)。
	八度高記號。
	呼吸記號。
	嬰 (sharp) 記號。
	重嬰 (double sharp) 記號。
	變 (flat) 記號。
	重變 (double flat) 記號。
	本位 (natural) 記號。
	ピアノ記號。
	アルト記號。
	テノール記號。





ト字(ヴァイオリン)記號。



低音部(ヘ字)記號。

- 全音符。
- ◡ 二分音符。
- ◣ 四分音符。
- ◤ 八分音符。
- ◥ 十六分音符。
- 三十二分音符。
- ◧ 六十四分音符。

- 全体止符。
- 二分休止符。
- ⋈ 又は ∨ 四分休止符。
- ∩ 八分休止符。
- ∪ 十六分休止符。
- ⊕ 三十二分休止符。
- ⊗ 六十四分休止符。

### 樂器音域表

次に掲ぐるは今日シンフォニー・オーケストラで使用される各樂器の音域表である。然し、樂器の多數はその記譜法上移調して書かれてゐる爲めに、傍ら、演奏に際して響く實際の音域を並記する。

樂器名	樂譜に記されたる音域	實際に響く音	摘要
Piccolo. ピッコロ		記譜より八度高い。	フルイット屬。
Flute. フルイット		記譜と同じ。	
Oboe. オーボエ		記譜と同じ。	
Oboe d'amore. オーボエ・ダモレ		記譜より短三度低い。	オーボエ屬。
English Horn. イングリッシュ・ホルン		記譜より五度低い。	
Hekelphon. ヘッケルフォーン		記譜より八度低い。	
E♭ Clarinet. E♭ クラリネット		記譜より短三度高い。	



楽器名	楽譜に記されたる音域	実際に響く音	摘要	
D Clarinet. ニ調クラリネット		記譜より一全音高い。	クラリネット属。	
C Clarinet. ハ調クラリネット		記譜と同じ。		
B♭ Clarinet. 変ロ調クラリネット		記譜より一全音低い。		
A Clarinet. イ調クラリネット		記譜より短三度低い。		
Alto Clarinet. (Bassett horn) アルト・クラリネット (バセットホルン)		記譜より五度低い。		
B♭ Bassclarinet. 変ロ調バスクラリネット		記譜されたより、高音部記號の時は九度、低音部記號の時には一全音低い。		
A Bassclarinet. イ調バスクラリネット		記譜されたより、高音部記號の時には短十度、低音部記號の時は短三度低い。		
Fagott. ファゴット		記譜と同じ。		ファゴット属。
Kontrafagott. コントラファゴット		記譜より八度低い。		

楽器名	楽譜に記されたる音域	実際に響く音	摘要
Valve Horn in F. ヘ調ホルン		記譜より、低音部記號の時は四度高く、高音部記號の時は五度低い。	ホルンはC、B♭、F、E♭、D、Cの調に於ても記譜される。トロンボーン属。サクソホン属。
Trumpet in C. ハ調トランペット		記譜と同じ。	
Basstrumpet in C. ハ調バストランペット		記譜より八度低い。	
Cornett à piston. a, b ホルネット (イ、変ロ) Trumpet a, b トランペット (イ、変ロ)		記譜より一全音低い。	
Tenortrombone. テナー・トロンボーン		記譜と同じ。	
Basstrombone. バストラロンボーン		記譜と同じ。	
Doublebasstrombone ダブルバストラロンボーン		記譜の通り。	
Buglehorn in B♭. 変ロ調ビューグルホルン		記譜より一全音低い。	
Tenorhorn in B♭. 変ロ調テノールホルン		記譜より長九度低い。	



楽器名	楽譜に記されたる音域	実際に響く音	摘要
Tenortuba in B $\flat$ . 變ロ調 テノールトッ ーバ		記譜より一全音低い。	ヴァーゲナ ー ト ッ ー バ。
Basstuba in F. ヘ調 バストッ ーバ		記譜より五度低い。	
C-Tuba. ハ調 トッ ーバ(バストッ ーバ)		記譜と同じ。	
Doublebasstuba. ダブルバストッ ーバ		記譜と同じ。	
Timpany. ティムパニ		記譜と同じ。	打 拍 樂 器 屬。
Triangle. トライアングル Snore Drum. 小太鼓 Castagnet. カスターネット Tambourin. タンブリン Cymbale. シンバル Side Drum. 小太鼓 Tamtam. タムタム Bass Drum. 大太鼓		音の高さは決定せず。	
Xylophoa. 木琴		記譜されたより八度高い。	

楽器名	楽譜に記されたる音域	実際に響く音	摘要
Glockenspiel. 鐘琴			撥 絃 樂 器。
Celesta. チェレスタ		記譜より八度高い	
Harp. ハーブ		記譜と同じ。	
Mandolin. マンドリン		記譜の通り。	
Gitar. ギター		記譜より八度低い。	
Violin. ヴァイオリン		記譜と同じ。	
Viola. ヴィオラ		記譜と同じ。	
Violincello. ヴァイオリンチロ		記譜と同じ。高音部記號で書かれた時はよく記譜されたのより八度低いことがある。	
Doublebass. ダブルベース		記譜より八度低い。	



最新刊 音樂書

新興音樂出版社發行

新興編輯部	飯田信夫	鹽入龜輔	志賀靜男	田村しげる	藤島昇	江口夜詩	柿沼太郎	高橋翔太郎	藤村又一
標準 音樂辭典	本譜の讀み方	樂典講義	歌曲の作り方	新人歌手入門	歌ひ方指導	歌謠教本 正しい歌謡曲の歌ひ方	正しい味ひ方 音樂の	歌謠の作り方	新らしい 流行歌の作り方
30.00	25.00	10.00	15.00	25.00	25.00	10.00	15.00	15.00	18.00
1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
音樂に志す人、音樂に携る方々の必備の辭典、各國調名一覽表 世界音樂家辭典余す所なく集録せり。	これから樂譜を知らうとする人に取つてもまた既に音樂に親し んでゐる人にも是非この一本を推奨する。	文字が讀めるとどんな文章でも讀める様に樂譜が讀めれば音樂 を理解する事が出來ます。	童謡、唱歌、歌謠等の作曲の仕方を分り易く一歩進んで伴奏の 附け方迄詳細に述べ初學者必讀の書。	自分は果して歌手としての資格があるだらうか、と迷つてゐる 人、どうしても歌手で身を立たい人に推奨する。	正しい歌唱をなさしめる様親切に解り易く講述なし大衆に音樂 を興味持たしめるため本書を刊行致しました。	歌はんと志す人々の虎の巻として呼吸練習から發聲練習其他歌 謠の要領全般を詳述せる書。	正しい音樂趣味及び音樂鑑賞即音樂教育の方杉を分り易く述べ てある好樂家に取つては必備書。	歌謠の作詞を志す諸氏の唯一の指導書。	説明が非常に親切で一讀成程と合點のゆける良書。

4565

昭和二十二年二月一日印刷  
昭和二十二年二月十日發行

▼定價金五拾圓▲

不許  
複製

編輯者 鹽入龜輔  
發行所 東京都杉並區松ノ木町一一一五  
印刷者 株式會社菅原鐵道印刷社

發行所

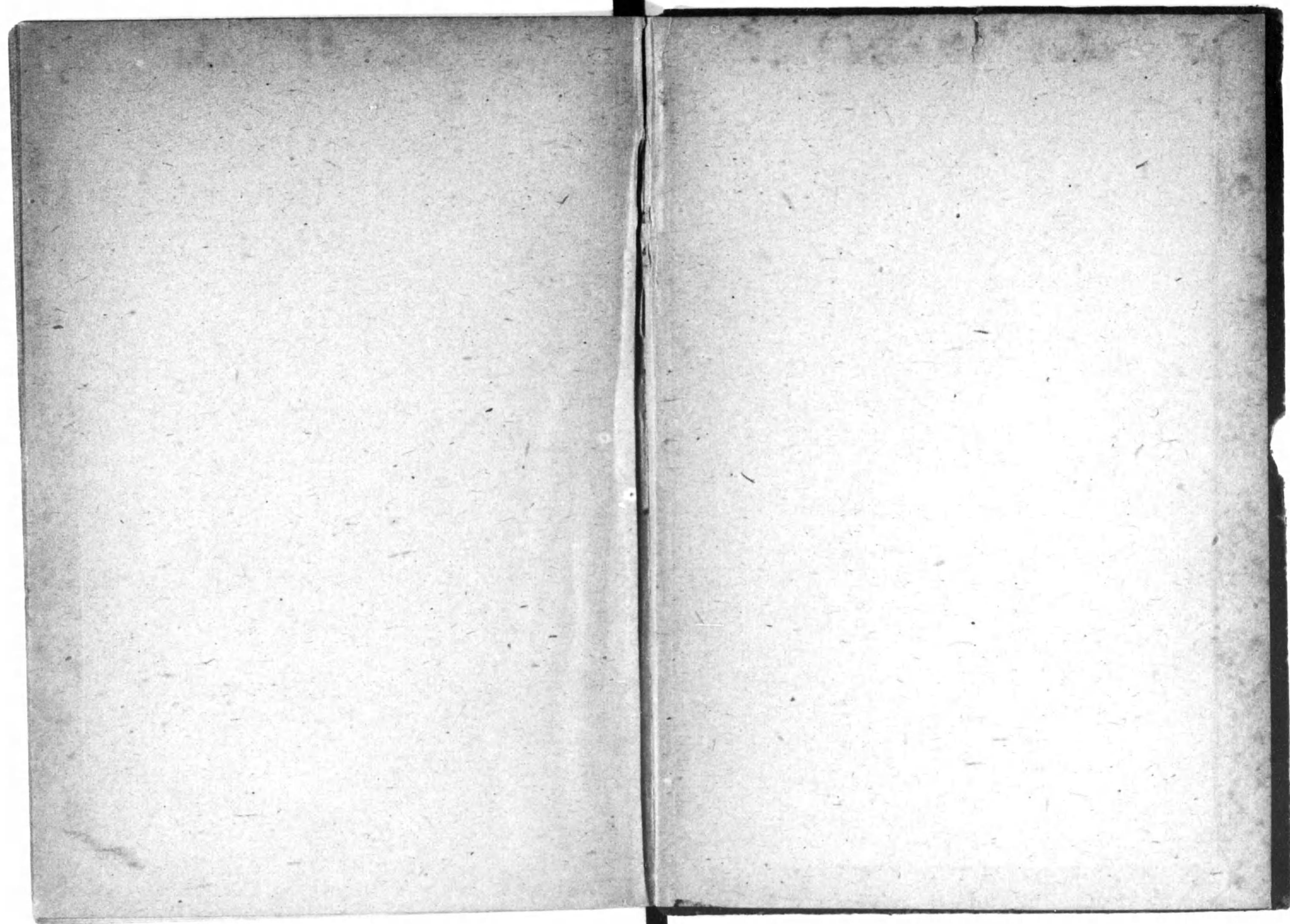
新興音樂出版社

電話中野(8)三三二〇番



新興編輯部	安部 盛	小倉 俊	〃	〃	〃	新興編輯部	安部 盛	〃	新興編輯部	平田義宗	平田義宗
オルガン 獨習	子供の ための ピアノ 曲集	ギター サロ ンミ ュジ ツク	ギ タ ー 獨 習	バイ オリ ン 獨 奏 曲 集	ホー マン バ イ オリ ン 教 則 本	ア コー デ オン 輕 音 樂 集	新 興 オル ガン 名 曲 集	〃 二 編	やさ しい ビ ア ノ 小 曲 集 一 編	新 譯 ツ エ ル ニ ー 三 十 番	新 譯 バ イ エ ル ピ ア ノ 教 本
20.00	15.00	15.00	20.00	10.00	20.00	8.00	20.00	13.00	13.00	20.00	40.00
2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00
初め て ある。	一編 朝のうた、散步、影法師、他二十数曲。 二編 童謡唱歌、外國名曲二十数曲。	ギター愛好家の尤も愛好するクラシツク名曲十数曲を集録せる 珠玉編。	ギターを習ふ方の最初の教則本、初歩者に平易會得出来る様解 説してあります。尙名曲練習曲數十。	バイオリンの世界的教則本ホーマンの弾き方を親切に説明した もの従來の外國版の必要なし廉價提供版。	サンタルチア、オーソレミオ、シユベルトの子守唄、白鳥ホフ マンの舟唄、他十三曲	月、ラ・クンバルシーター其他二十五曲。	オルフィスより、聖夜、忘れな草、別れ、庭の千草、追想、故 郷の發歌、野バラ他数曲。	樂しき農夫、バラの花咲く頃、ローレライ、可愛い踊り子、 トルコ行進曲、碧きドナウ他数曲。	列を正して牧歌調、青春の鐘、ボンボン、ファストのワルツ無 休止のギャロツプ子供等と共に他数曲。	ピアノを練習する人のバイエルの次ぎに習ふ練習書はこれです	ピアノを習ふ方の最初の教則本の邦譯、親切詳細に初歩者に平 易會得練習出来る様解説してあります。







R760.3-Sh72-2ウ



\*1200800302613\*



終